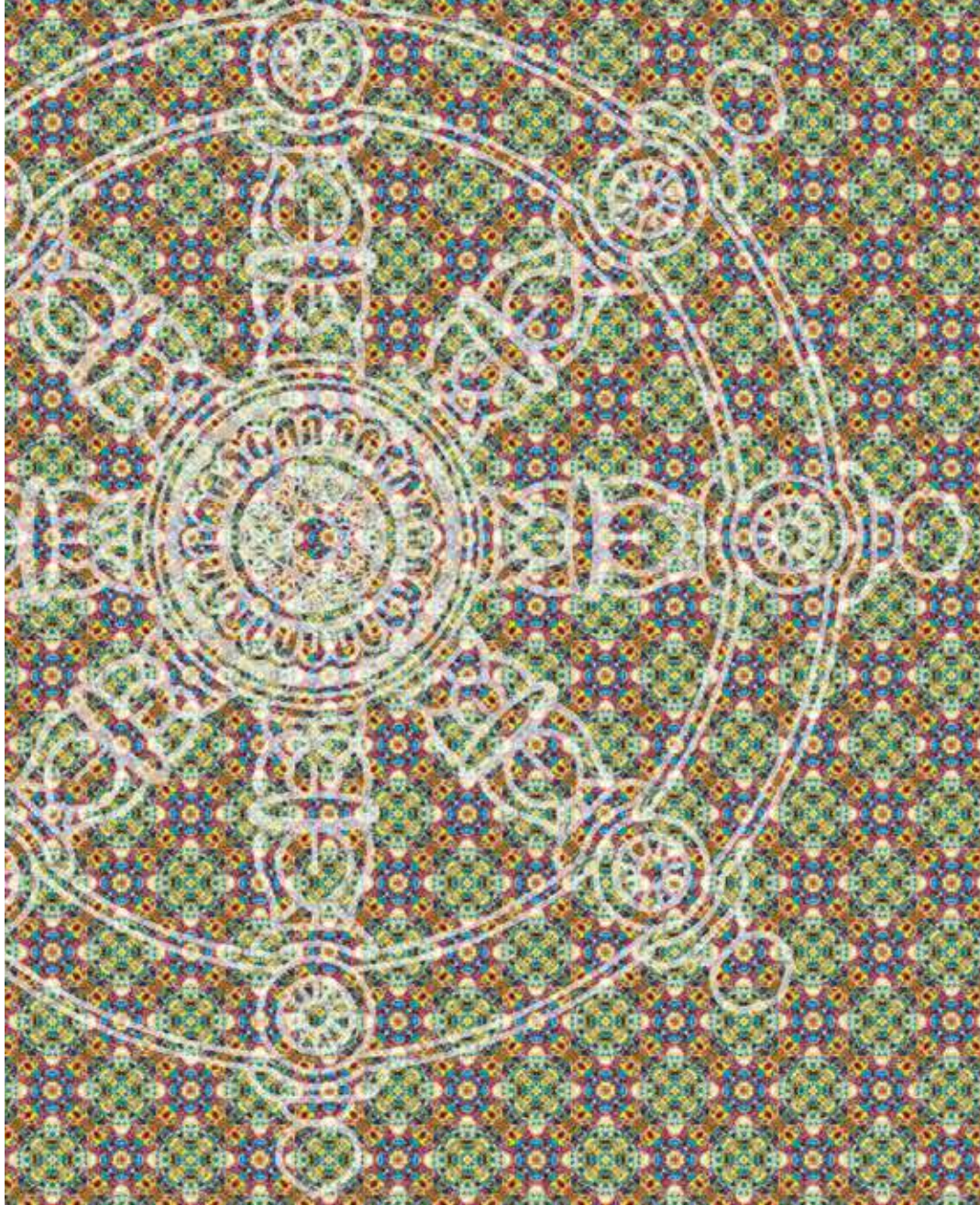


# 道

# みち

公益財団法人 仏教伝道協会

No.08  
2019



**BDK**  
Newsletter



新たな時代の幕開けへ  
智慧と慈悲の教えと共に

## 02 公益財団法人 仏教伝道協会 平成30(2018)年度の主な活動

### 1. 出版事業

- 南インド『仏教聖典』頒布報告
- 『仏教聖典』頒布の今 平成30(2018)年度 頒布状況等
- シリーズインタビュー 『仏教聖典』を訪ねて ～武蔵野大学 西本照真学長に聞く 一生モノの一冊に会う 教育現場にて使用されている『仏教聖典』
- 第3回「こころの絵本大賞」受賞作品決定
- 「輝け!お寺の掲示板大賞2018」開催
- 「全国ホテルマネジメントセミナー」参画
- 第5回「一日一訓カレンダーフォトコンテスト」開催  
\*写真展「第4回一日一訓カレンダーフォトコンテスト」(於 築地本願寺・平等院・瑞巖寺)
- 「釈尊絵伝」絵画展開催(於 平等院ミュージアム)
- BDK「英訳大蔵経」事業報告

## 14

### 2. 助成・表彰事業

- 奨学金事業報告  
\*平成30(2018)年度「外国人留学生奨学金」受給者紹介  
\*平成30(2018)年度「日本人留学生奨学金」受給者紹介
- BDK奨学金「奨学生交流会」開催(於 仏教伝道センタービル)
- 第52回「仏教伝道文化賞」贈呈式開催(於 仏教伝道センタービル)
- 平成30(2018)年度「助成金事業」報告  
\*全日本仏教青年会主催「現代の僧侶を考えるワークショップ」参画

## 21

### 3. 啓蒙活動・支援事業・仏教講座の開催

- ラジオ企画「笑い飯哲夫の サタデー★ナイト 仏教」開始
- 「禅とヨガで知る 手放すこと 受け取ること」開催(於 曹洞宗青松寺)
- 第48回「実践布教研究会」開催(於 浄土宗総本山知恩院)
- 「鶴見大学×仏教伝道協会 共同企画講座」開催(於 鶴見大会館)  
\*「生きるのも死ぬのも面倒になったとき」 \*「死との向き合い方」  
\*「ZEN in Japanese Culture」
- 「体感する仏教～港区編～」開催(於 増上寺、青松寺、光明寺、真福寺)
- 「仏教甘味と共に味わう 死の体験旅行」開催(於 仏教伝道センタービル)
- 「特別坐禅会」開催(於 曹洞宗大本山總持寺)
- 各種定例講座のご案内  
\*『仏教聖典』を生活に活かす会・経営に活かす会 \*仏教ヨガ講座
- 仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」(於 TKPガーデンシティ渋谷)  
\*特別編「奈良仏教と平安仏教」(於 仏教伝道センタービル)
- 仏教を初歩英語で学ぶ会  
\*「WFB世界仏教徒会議」～卒業生・受講生がガイドボランティアとして参加
- 平成30(2018)年度BDKシンポジウム
- 「三田落語会 大感謝祭」開催(於 浜離宮朝日ホール)
- 沼田智秀前会長 三回忌法要・仏教伝道協会物故者追悼法要 厳修  
(於 仏教伝道センタービル)
- 「仏像フィギュア ガチャガチャ」設置
- ちょっとひと休み 現代人のためのプチ「ヨガ生活」のすすめ

## 37

### 海外協力機関のご紹介

- 米国仏教伝道協会 ●ハワイ仏教伝道協会
- カナダ仏教伝道協会 ●メキシコ仏教伝道協会・メキシコ恵光寺
- アジア仏教伝道協会 ●台湾仏教伝道協会
- ヨーロッパ仏教伝道協会・恵光日本文化センター ●英国仏教伝道協会

## 50

### “ささえあって” 「仕事(しごと)」



公益財団法人 仏教伝道協会

BUKKYO DENDO KYOKAI

BDKニュースレター No.8 2019-4.500

令和元(2019)年6月1日発行(毎年1回発行)

発行 公益財団法人 仏教伝道協会  
〒108-0014 東京都港区芝4-3-14  
電話: 03-3455-5851(代)  
FAX: 03-3798-2758

編集・撮影 江口 郁(公益財団法人 仏教伝道協会)  
印刷 株式会社アーク/デザイン 田所淳一



公益財団法人 仏教伝道協会  
会長 木村 清孝





平素より当財団の事業にご理解ご協力を賜り、まことにありがとうございます。

平成から令和に元号が変わり、新しい時代の幕開けを迎えました。本紙では平成30（2018）年度の主な活動についてご報告をしていますが、活動の主軸である『仏教聖典』の頒布の推進はもとより、ラジオやインターネットのメディアを通じた企画、東京以外の地方や外部の諸機関との協力による講演会、写真展等の実施など範囲を拡大しつつ、各種の活動を展開してきました。これらはいずれも、より多くの方がたと仏教の教えを分かちあい、世界の平和と安寧に貢献したいとの願いにもとづくものです。

仏教の誕生から今日まで、時代は目まぐるしく移り変わってきましたが、仏教の説く智慧と慈悲の教えはしっかりと受け継がれてまいりました。

思うに、仏教を永遠にこの世界にとどめ、よりよい未来社会の建設に寄与していくためには、世俗的な欲望を超える「正法」を伝えつづけるとともに、人びとと自然に対する深い愛情をもって、教育・福祉関係の活動を具体的に進めることが必須です。新しい時代の幕開けにあたり、私どもは、いっそう力を入れて、仏教伝道の使命を継続、展開させていく所存です。

有縁の皆さまには、今後ともご支援とご教導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

合掌



1 出版事業

01 Activity

南インド 『仏教聖典』 頒布報告

平成30(2018)年10月、南インド・カルナータカ州の亡命チベット人居留地への仏教聖典寄贈を行いました。



『仏教聖典』の寄贈 (Rato Monasteryにて)



Sera Jhe Schoolにて



Drepung Gomang Schoolにて



Sambhota Tibetan Schoolにて

ムンドゴット、バイラクッペ、フンスールの各居留地の、学校・病院・ゲルク派三大僧院ならびにチベット仏教各宗派の僧院学校や図書館、尼僧院に『チベット語仏教聖典』『英文仏教聖典』各1万冊を、計53カ所に寄贈しました。

2週間にわたるインドでの頒布に際しては、スーパ

ーサンガ幹事 緑川明世師(天台宗・深大寺)によるチベット語での「仏教聖典説明会」を実施、日本仏教とチベット仏教の架け橋として『仏教聖典』を位置づけていただき、寄贈先では『仏教聖典』を、感謝をもって受け取ってくださいました。

尚、この寄贈事業の実現に際して、緑川明世師をはじめ、チベット仏教普及協会副会長クンチョック・シタル師、ガワン・ウンスー師、ダライ・ラマ法王日本代表部事務所のレントック代表、デプン寺ゴマン学堂の僧院事務局長ロサン・ゲレク師、図書館長ゲシエ・プンツォック師、タシルンポ大僧院事務局長クンチョック・テンジン師、ヒシエ・ダンドゥップ師、Rumi Impex Pvt. Ltd社代表鶴岡弥生氏、ニラジ・プリー氏などインド・日本の皆さまにご尽力いただきました事、改めて感謝します。

Publication



## 02 Activity

# 『仏教聖典』頒布の今 平成30(2018)年度頒布状況等

平成30(2018)年度のホテルへの『仏教聖典』の寄贈数は、12,511冊でした。同年の訪日外国人観光客数は、過去最高の3,119万人を記録しました。ラグビーワールドカップが開催される2019年は、更に多くの旅行者による訪日が予測されます。日本の「おもてなしの心」を伝える質の高いホスピタリティの一助として、これからも『仏教聖典』の活躍の場を広げていきます。

今年度の特徴として、関西を中心に「宿坊」への寄贈が多かったことが上げられます。訪日外国人観光客を中心に人気を集め、お寺の雰囲気とともに『仏教聖典』を通して仏教の本質に触れてもらいたいという動きが見受けられました。

また、今年度も仏教系学校、保育施設等への頒布活動を展開し、36,428



〈平成30(2018)年の『仏教聖典』頒布状況〉1月～12月

	件数	寄贈冊数	販売冊数	
国内	ホテル(新規)	27	6,160	
	ホテル(補充)	72	4,167	
	病院(新規)	5	52	
	病院(補充)	6	30	
	学校(販売)			11,776
	学校(寄贈)	270	36,428	
	寺院(販売)			3,052
	寺院(寄贈)		607	
	一般他販売			468
	書店寄贈		1,836	1,289
国内頒布数計		49,280	16,585	
海外	海外協力機関		38,121	
	ホテル	52	2,350	
	その他		22,567	
海外頒布数計		63,038		
総計		112,318	16,585	
			128,903	



ルンビニー・シッドダタホテル協会への『仏教聖典』贈呈

冊を寄贈しました。学校から寄贈の依頼をいただく機会も増え、入学式や卒業式などの行事での『仏教聖典』の配布が定着してきているようです。

このように現在数多くの場所に頒布されている『仏教聖典』ですが、「仏教聖典編集委員会」が毎年開催され、仏教学者の先生方を中心にして内容の検討作業が行われています。これまでも『仏教聖典』は時代に応じて改訂されてきましたが、より良い内容にするべく今後も努力を続けてまいります。



# 『仏教聖典』を訪ねて

## 一生モノの一冊に出会う

## 教育現場にて使用されている『仏教聖典』



武蔵野大学  
西本照真学長  
に聞く

◎取材協力=武蔵野大学 学長 西本照真師

◎聞き手=公益財団法人仏教伝道協会 印牧恵美

◎場所=武蔵野大学 有明キャンパス

◎編集・撮影=公益財団法人仏教伝道協会 江口郁



武蔵野大学有明キャンパス

仏教伝道協会では、長年『仏教聖典』の頒布を主軸事業のひとつと位置づけ出版事業の中心として継続的な活動を行ってきました。近年はホテル・旅館などの宿泊施設はもとより、寺院、医療施設などに加え、教育機関でも使用されるなど、さまざまな活用がなされています。

今回は、この『仏教聖典』を大学の授業等を中心に活用いただいる武蔵野大学の西本照真学長にお話を伺うべく、東京湾に面した近代な校舎が印象的な有明キャンパスを訪ねさせていただきました。

まずは武蔵野大学の教育理念を教えてくださいませんか？

本学は、国際的な仏教学者である高楠順次郎先生が「仏教精神を根幹とした人格育成」を理想に掲げ、武蔵野女子学院として創立されたのがはじまりです。関東大震災の次の年に、築地本願寺(中央区築地)に建てられた救護所の跡を譲り受けて誕生しました。人びとが苦しみ、悲しみのどん底にある中で、小さな光を灯したいとの思いもあつたのでしよう。仏教主義を建学の精神とする中で、特に大事にしているのが四弘誓願(しごげいがん/ほとけのねがい)です。第三代学院長の山田龍城先生は、

第一願「衆生無辺誓願度(しゆじようむへんせいがんど)」を「いぎとし生けるものが幸せになる

ために」と訳されました。この願いを胸に抱き、生きがいのある楽しい平和な世界を打ち立てるという理想のために尽くす人を育てたいというのが本学の教育目標です。

そのような建学の精神を今日的に分かりやすく発信したいと考え、平成28(2016)年に「世界の幸せをカタチにする。」(Creating Peace & Happiness for the World)という新たなブランドステートメントを宣言しました。学生も教職員も武蔵野大学に関わる一人ひとりが、ハピネスクリエーター(Happiness Creator 幸せを創る人)として、互いの力を響き合わせながら、世界の幸せのカタチづくりに足を踏み出してほしいと思います。



なるほど。ブランドステートメントで「カタチ」とカタカナで表記されているのは何か特別な意味があつてのことですか？

最初から絶対的な、唯一の幸せというものを設定してしまうと、排他的になり、みんなの運動にはなりません。あえてカタカナで「カタチ」としたのは、幸せのカタチは多様であつていい、という思いがあります。物質的な幸せ、精神的な幸せ、心の幸せ、身体の幸せ、目に見える幸せ、目に見えない幸せ、いろいろな幸せのカタチがあつていい。

大切なことは、自分一人の幸せではなく、多くの人の幸せ、生きとし生けるものすべての命が輝く、そのような幸せのカタチを共感性と知恵を総動員して響創していくことだろうと思ひます。本学では、ブランドステートメントを具現化していくために、「しあわせ研究所」を設立し、

国連のSDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) の運動に大学を挙げて取り組んでいきたいと考え、「武蔵野大学SDGs実行宣言」を公表しています。11の学部19の学科それぞれが、17の目標のうちのどの幸せのカタチの実現に取り

組むか、明確にして取り組んでいきましよう、ようやく動き始めたところです。

話し終えたタイムイングで学内のチャイムが鳴る(チャイムも四弘誓願の歌のメロディで、思わず一同笑い合う)

さて、丁度チャイムが鳴ったところで、話題は変わりますが(笑) 武蔵野大学と当協会との関係について伺えますか？

仏教伝道協会様と本学には大変深いご縁があります。まずは、仏教伝道協会を設立された株式会社ミットヨの創業者である沼田恵範師、仏教伝道協会第二代会長の沼田智秀師にも当法人の理事を務めていただきました。そして昭和53(1978)年に(株)ミットヨの株を10万株譲渡していただき、そちらを原資として本学の奨学金制度を設立させていただきました。また昭和42(1967)年の幼稚園建設時には園舎の建築費をご支援いただきました。更に、昭和63(1988)年に本学の創立60周年記念として、武蔵野キャンパスにパイプオルガン(ドイツ・ボッシュ社製・6号館に設置)を

寄贈いただきました。本学の仏教教育の充実に大変なお力添えをいただき、感謝いたしております。

長年にわたり数々のご縁をいただき、本当にありがたいことです。では、当協会発行の『仏教聖典』についてはいかがでしょうか？

最初に『仏教聖典』に出会ったのはどこかのホテルだったと思います。表紙の朝日の色が強烈な印象でした。ただ、手にはしていませんが、じっくり読んだことはなかったですね。

初めてじっくりと読ませていただいたのは、武蔵野女子大学(当時)に勤めはじめた平成9(1997)年でした。私が本学にご縁をいただいたのは、『仏教聖典』の発行に深く携わられた花山勝友先生の急逝をうけることでした。花山先生は学生時代に慕われ、大変人気のある先生でした。今でも覚えています。が、勤め始めた頃、一年の終わりのテストで学生に一番印象に残った授業を書いてもらったところ、花山先生のご講演のビデオを見た回が一番良かったとあり、我が身の至らなさに恥じ入

ったことがあります(苦笑)。とにかく花山先生は別格でした。

そのようなエピソードがあつたのですね(笑)。では、『仏教聖典』は実際にどのようにご活用いただいているのでしょうか？

平成28(2016)年に学長に就任するまで、建学の精神を学ぶ「仏教概説」という全学必修の授業を担当する中で、長年使用させていたっていました。本学では後援会の援助をいただき、入学時に学生の皆さん全員に『仏教聖典』をお配りしています。

私の授業では、授業のはじめ

に三帰依文を唱え、黙念をした後に、毎回『仏教聖典』を4〜5ページ、学生の皆さんに一段ずつ順番に読んでもらい、感想を聞いていました。

毎回少しずつ皆さままで読んでいただいていたのですね。なぜ授業で『仏教聖典』を活用しようと思われたのでしょうか？

『仏教聖典』には沢山のわかりやすい喩えが載っているため、難しい仏教をわかりやすく説明するには大変ありがたかったです。テストでも、『仏教聖典』の中で一番心に残った一節を説明してもらったりもしました。



創設者 高楠順次郎氏のことばが書かれた掲示板



『仏教聖典』を使用することで、ずいぶんわかりやすく、興味のもてる授業になったのではないかと思います。学生の反応もまずまずでした。「西本先生は、これまで出会った中で一番変な先生でした」という「お褒めの言葉」もいただきました（苦笑）。通常の授業では学ぶことができない、楽しい仏教を学べたと。

学生たちの間では、「花は咲く縁が集まって咲き、葉は散る縁が集まって散る。ひとり咲き、ひとり散るのではない。」（『和英対照仏教聖典』P.83）という一節や「薩埵（さつた）太子が自らの身を飢えた虎に供養した」（『和英対照仏教聖典』P.39）という話などが特に印象深かったようです。諸行無常の喩えとして、2匹の鬼が旅人の死体をとりあう話（『和英対照仏教聖典』P.283）を取り上げて、鬼役、旅人役、死体役など割り振って演劇をしてみらったこともあり

ました。また、人生の受け止め方として、「三つの誤った見方がある」（『和英対照仏教聖典』P.87〜P.89）という箇所、最初は誤った見方であることは伝えないで、三つの中でどの立場に賛同するか手を上げてもらい、ディスプレイ

で、三つの誤った見方がある（『和英対照仏教聖典』P.87〜P.89）という箇所、最初は誤った見方であることは伝えないで、三つの中でどの立場に賛同するか手を上げてもらい、ディスプレイ

ションしたこともありました。ともかく、『仏教聖典』には大変お世話になりました。感謝しています。

**4年間の学生生活を通じて、だんだんと仏教の教えがしみこんでいくような感じですね。**

そうですね。新入生の中には、

本学が仏教系の大学であることを知らないで入学する学生も少なからずいると思います。入学式では正面にお仏壇を安置し、開式の前に三帰依文、四弘誓願をと覚えて仏前礼拝を行います。まるでお葬式のようなという印象をもつ新入生もいるのではないのでしょうか（笑）。やがて、仏教概説の授業や大学礼拝などの仏教行事を通じて、徐々に仏教的なものの見方、考え方、生き方のすばらしさに気づいてくる学生も多くいるように思います。

そう言えば、私が勤め始めてすぐの頃、20年くらい前のことになるのでしょうか。仏教概説の授業が始まる時間になったので教室に入っていくと、学生たちが窓際に群がっている。どうしたのかと問いかけると、その内の一人が教室内に迷い込んだス



武蔵野大学有明キャンパス

ズメが窓ガラスに激突し、たつた今、私の手の中で亡くなったというのです。突然の出来事にみんな驚き、とても授業を始められないままです。突然の出来事にみんな驚き、とても授業を始められないままです。突然の出来事にみんな驚き、とても授業を始められないままです。突然の出来事にみんな驚き、とても授業を始められないままです。

です。

4年間の学生生活の中では、予期せぬ出来事を経験することもあるでしょう。単に専門分野を学ぶということだけでなく、さまざまな経験を通じて、生き方を学んで社会に巣立つてほしいと思います。

**長年様々な形で『仏教聖典』をご活用いただきありがとうございます。**

**います。世界各国でも活用されている『仏教聖典』ですが、今後の教育現場での活用についてどのようにお考えでしょうか？**

最近では、ホテルには『仏教聖典』をはじめとする宗教関係の書籍を置かないようにする動きも見られますが、教育現場ではまだまだ活用が出来ると考えています。海外の大学でも、仏教に





『仏教聖典』についての思い出を語る西本学長（左）

関する講義を数百人規模の学生が受講しているとの話を聞きま  
す。特に概論的な授業では、副読  
本として使ってもらおうなどの取  
り組みもあつてよいのではない  
かと思えます。

また、アジア各国はもちろん  
ですが、これからはアフリカの  
時代でもあります。これまで必  
ずしも仏教が広がっていないア  
フリカなどの地域にも目を向け  
て、寄贈を試みたらいかがでし  
ょうか。

以前、点字研究部の顧問をし  
ていた時に、『点字仏教聖典』『昭  
和56（1981）年仏教伝道協会  
より発行』にも出会いました。  
『仏教聖典』は、沢山の言語に翻  
訳されているだけでなく点字版  
まで用意されているなんて！  
と驚いたことを覚えています。  
今後も仏教の教えにふれる機会  
のなかった方、あるいは仏教に  
関心があり、わかりやすい書物  
を求めておられる世界中の方が  
たに、『仏教聖典』をご活用いた  
だければと思います。

そうですね。ところで、全てにお  
いて多様化、国際化がすすむ中、  
武蔵野大学でも留学生も増えて  
いると伺いました。日本有数の  
仏教系総合大学として、他宗教

への理解や国際化について大学  
としての取り組み等があります  
か。

本学では、2024年の10  
0周年に向けて、「武蔵野大学国  
際化ビジョン100」を策定し、  
「世界に羽ばたき、世界を迎え  
入れる」武蔵野大学になろうと  
様々な国際化の取り組みをして  
います。現在、留学生は約600  
人ほどですが、2024年には3  
000人を受け入れたいと考え  
ています。そのためには、国際寮  
なども充実させていく必要があ  
るでしょう。また、すべて英語の  
授業であるグローバルビジネス  
学科や、AI時代を先導する人  
材を養成するデータサイエンス  
学部（2019年度新設）など、  
特色ある学科の魅力をもつと  
つと海外に発信していく必要が  
あると考えます。仏教系の大学  
ですが、信教の自由を保障する  
ために、イスラム教を信仰する  
方がたのために礼拝室なども設  
けているのですよ。また、世界に  
羽ばたく点では、2019年度  
から、グローバルコミュニケーション  
シオン学科に在籍する2年生は  
全員、半年間、アメリカの12の大  
学に留学をするプログラムをス

タートさせました。この学科だ  
けではなく、他のすべての学科  
の学生も一度は何らかのカタチ  
で海外へ学ぶ機会が持てるよう  
な教育プログラムを検討してい  
きたいと考えています。

国際化と併せて、創設者の高楠順  
次郎氏は、設立当初、女性の教育  
を目的とし女子大学として貴学  
を設立された経緯がございます  
が、共学となった現在、女性の教  
育、社会での活躍をどのように考  
えていらっしゃいますか。

高楠先生は、「暗黒の幕は女性  
の手に依つてのみ除かる」と  
仰っています。当初から女子大  
学の創設を目指しておられたの  
ですが、あの時代、女子大学は認  
められていなかったため、まず  
は武蔵野女子学院高等女学校か  
ら始められました。女性の活躍  
の場が限られていた時代におい  
て、新たな社会を切り拓いてい  
くために、女性がしつかりとし  
た人格教育を受け、社会の様ぞ  
まな方面で活躍できる力を養つ  
ていくことが大事であると考え  
ておられた。今日の「男女共同参  
画化社会」を見越した先見の明  
がおりになったように思います。  
本学は2004年に男女共





## 西本照真 にしもと・てるま

●昭和37(1962)年生まれ。広島県出身。平成6(1994)年東京大学大学院人文科学研究科印度哲学専攻博士課程単位取得満期退学。博士(文学)。専攻は仏教学。ハーバード大学、台湾師範大学、UCバークレー、中国社会科学院などに研究留学。武蔵野大学人間科学部学部長、同大学院仏教学研究科長を経て、平成28(2016)年4月、武蔵野大学学長就任。この間、国際真宗学会理事、武蔵野大学附属幼稚園長、学校法人武蔵野大学理事などを歴任。主な著書『三階教の研究』(春秋社)、『「華嚴経」を読む』(角川学芸出版)など。

仏教伝道協会様にはますます多様なカタチでの仏教の学びの機会を提供していただけたらと思っております。

また平成3(1991)年から留学生への奨学金制度(詳細は別ページ)を設けていらつしゃいますよね。長年、留学生の受け入れ、送り出しに非常にご尽力くださっている。志のある仏教研究者のサポートを、今後とも是非ご支援いただきたいと願っています。

◆武蔵野大学に関するお問い合わせは公式サイトをご確認ください。

<https://www.musashino-u.ac.jp/>

◆『仏教聖典』やその他出版事業に関するお問い合わせは、仏教伝道協会公式サイトをご確認ください。

[www.bdk.or.jp](http://www.bdk.or.jp)

学化してから15年が経ちます。志願者数では男性が約55%、入学者では女性が約55%となつていますが、女性の活躍を願われた学祖の思いはいよいよ大切にしつつ、男女が切磋琢磨しながら互いに成長していける大学にしていきたいと考えています。

グローバル化といえは、ご自身もアメリカの大学でも学ばれたご経験から、日本の教育と海外の教育の違いはお感じになりましたか。

び交いますし、必死になつて課題をこなしている学生が図書館はもちろん、キャンパスのあちこちでみられます。授業前にも寸暇を惜しみ、電線にスズメが止まっているように、廊下で地べたに座つてパソコンを打ちながら、前の授業の終わりを待っている。そういう雰囲気も本学でも醸成してきたいと思えます。

ありがとうございます。では最後に、今後の公益財団法人仏教伝道協会の活動に期待することはありませんか?そして、これから仏教学研究を志す皆さまへメッセージがございましたらお聞かせください。

先ほど、本学はAI時代を先導する人材を輩出するためにデータサイエンス学部を開設したと申しました。AIがデータを蓄積し、処理し、判断する。AIが人間の仕事のかなりの部分を担つていく時代がすぐそこまで来ている。やがて、AIが人間のように「生きるこの意味」を感じる時代がくるのでしょうか。AIがおかげさまと感謝する時代がくるのでしょうか。人間に生きるこの意味、おかげさまと感謝することはできません。先行き不透明な時代を生き抜いていく上で、仏教的なものの方や考え方、実践がますます必要になつてくるのではないかと思います。その意味で、

念じています。

この度は、武蔵野大学という国内有数の仏教系総合大学を訪問させていただきました。西本学長の優しく朗らかな口調と気さくなお人柄も助けとなり、武蔵野大学と当協会との長年のご縁を改めて感じる機会となりました。大学という人生の様ざまな学びが得られる場で、『仏教聖典』が活用されているということを実感しました。

仏教伝道協会では、今後も国や地域を問わず教育現場における『仏教聖典』の活用を促進するとともに、宗教や国籍などを超えた様ざまな考え方を持つ皆さまに親しんでいただける書籍づくりを目指してまいります。

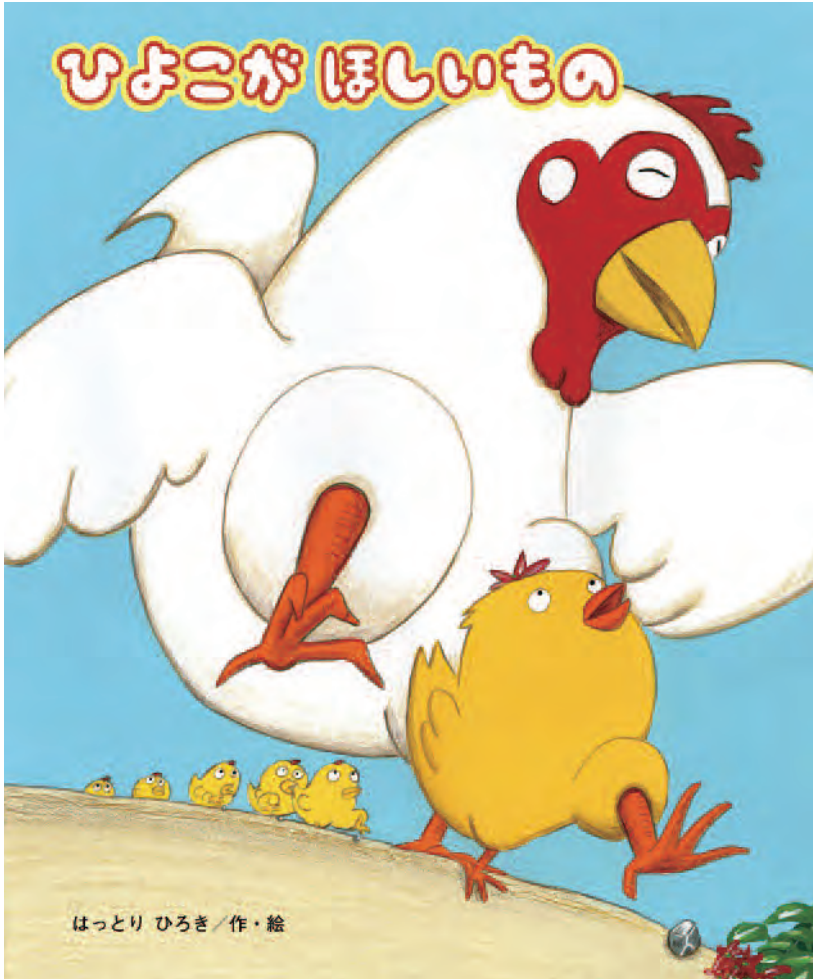


03 Activity

第3回「こころの絵本大賞」  
受賞作品決定

「読み聞かせを通じて、子どもたちに「こころ」の大切さを伝えたい」という願いのもと、第3回「こころの絵本大賞」が開催しました。

【協賛】鈴木出版(株) 後援 毎日新聞社、(公社)日本仏教保育協会、(公財)全国青少年教化協議会



第3回「こころの絵本大賞」大賞受賞作品『ひよこがほしいもの』表紙

第3回目となる平成30(2018)年度の募集には、幅広い年齢層から、計75作品の応募がありました。応募総数は第2回目と変わりませんが、他のコンクールの受賞経験者から



大賞受賞者 はっとり ひろき氏

ました。応募作品の中から大賞に選ばれたのは、はっとりひろき氏の「りっぱなひよこりっぱなにわとり」。な

の応募も多数あり、審査員からは、全体的に応募作品のレベルが上がったという感想が数多くありました。

それでも欲しがると、それを暖かい目で見守る母親のやりとりが印象的な、心温まる作品です。

児童文学者の西本鶏介氏、絵本作家の藤本ともひこ氏、鈴木出版編集長の波賀稔氏による厳正な審査の結果、大賞1作品、優秀賞3作品、佳作5作品が決定し

大賞作品には賞金が贈呈され、平成31(2019)年3月に『ひよこがほしいもの』というタイトルで出版しました。

04 Activity

『輝け！お寺の掲示板  
大賞2018』開催

「輝け！お寺の掲示板大賞」は、お寺に設置されている掲示板の標語を撮影してインターネットのSNS (TwitterやInstagram) に投稿してもらい、皆さまから寄せられる反響を参考にしながら大賞を決定する企画です。

「中外日報」や「仏教タイム」メディアのご協力のもと、「ス」などさまざまな仏教系 平成30(2018)年7月1



# 平成30(2018)年度の主な活動

「輝け！お寺の掲示板大賞2018」掲載サイト



日から募集を開始しました。この催しは初の仏教系SNS企画としてネット大手サイトに取り上げられ、テレビ・ラジオなどの国内メディアにとどまらず、中国・台湾の海外サイトでも取り上げられるなど、大きな反響を呼びました。10月31日までの4か月間の応募期間の中で集まった作品はTwitter 96作品、Instagram 96作品に及びました。



セミナーにて登壇する印牧恵美出版事業部長（於 広島・リーガロイヤルホテル）

## 05 Activity

### 「全国ホテルマネジメントセミナー」参画

も死ぬぞ「積尊」です。これは岐阜県の真宗大谷派願蓮寺が掲げた標語で、大変多くの人がびとに衝撃をもって受け止められ、「Twitter」上では4万を超えるリツイート

がありました。もう一つの仏教伝道協会賞は、真宗佛光寺派の本山佛光寺の掲示板が受賞しました。これら以外にも心を打つ素晴らしい作品やユニークな作品が

多数集まり、掲示伝道に力をいれているお寺がたくさんあることに気づかされました。

仏教伝道協会では、平成29(2017)年より、(株)オータパブリケーションズ主催のホテル管理職者対象「全国ホテルマネジメントセミナー」に参画しています。平成30(2018)年度は、地方都市に重点を置き、愛知県・沖縄県・大阪府・広島県・石川県の5会場でのセミナー開催を支援しました。各セミナーでは『仏教聖典』のホテルへの頒布活動を中心とした20分間のプレゼンテーションを行い、ホテル業界の方がたに当協会の活動を紹介しました。

また、今年度より、ホテルで働く方向けのメールマガジンの配信を開始し、ホテ

※今回の受賞作品の詳細や今後の予定については、当協会公式サイトをご確認ください。  
www.bdk.or.jp/kagayake2019/

日にち	場所	会場	参加者数
4月26日	愛知県	ストリングスホテル名古屋	61名
6月18日	沖縄県	ロワジュールホテル那覇	63名
7月20日	大阪府	リーガロイヤルホテル	90名
11月19日	広島県	リーガロイヤルホテル広島	40名
3月27日	石川県	金沢東急ホテル	36名

ル業界の皆さまのお役に立つ情報を提供しています。特に「お坊さんによるお悩み相談コーナー」では、僧侶の立場からホテルで働く皆さまの日常の悩みにお答えするユニークなコーナーとして人気を集めています。



# 06 Activity

## 第5回「一日一訓カレンダー」

### 「フォトコンテスト」開催

#### 写真展「第4回一日一訓カレンダー」

#### 「フォトコンテスト」(於築地本願寺・平等院・瑞巖寺)

平成26(2014)年より毎年開催している当コンテストは、平成30(2018)年度で第5回目を迎え、今回の応募総数は640件2,147枚と過去最多を記録しました。

9月6日に審査会を開催し、表紙を含む32枚を選定、入選者に賞状と賞金を贈呈いたしました。入選作品は当協会公式サイトでもご覧いただけます。

#### 写真展「第4回一日一訓カレンダー」 「フォトコンテスト」入選作品

第4回「一日一訓カレンダー」フォトコンテストの入選作品の写真展を全国3ヶ所において開催しました。平成30(2018)年4月28日から5月27日まで築地本願寺インフォメーションセンター(東京都中央区築地)、平成30(2018)年6月30日から9月17日まで平等院ミュージアム・鳳

翔館(京都府宇治市宇治)、平成30(2018)年10月19日から11月25日まで瑞巖寺本堂(宮城県宮城郡松島町)にて開催しました。尚、東北地方での「一日一訓カレンダー」フォトコンテスト「写真展」の開催は初の試みとなり、多くの参加者からご好評をいただきました。今回の来場者数は、築地

本願寺では約8万人、平等院では約26万3千人、瑞巖寺では約8万人と、大勢の方がたに写真と仏教の言葉に親しんでいただく機会となりました。



第4回「カレンダー」フォトコンテスト写真展「書家鈴木猛利氏による書道パフォーマンス」(於平等院)



第4回「カレンダー」フォトコンテスト写真展 (於瑞巖寺)



07  
Activity

「釈尊絵伝」  
絵画展

開催



第1回「釈尊絵伝絵画展」(於 平等院ミュージアム)



記者会見で経緯を説明する桂紹隆理事長 (於 平等院ミュージアム)

平成30(2018)年6月30日から9月14日まで、平等院ミュージアム・鳳翔館(京都府宇治市宇治)において、野生司香雪画伯が製作した「釈尊絵伝」7枚の原画が、作成時の資料や写真とともに初公開されました。

初日には絵画展開催に伴い記者会見が開かれ、仏教伝道協会 桂紹隆理事長より「釈尊絵伝」製作の経緯を説明させていただきました。平等院住職の神居文彰師は「人物の年齢ごとに肉付きが異なる。野生司画伯は仏伝の研究はもろろんのこと、人体の研究についても怠っていない」と語り、「釈尊絵伝」を高く評価していただきました。

多くの来場者が、野生司画伯の年表や直筆の手紙などの展示物を観覧され、「釈尊絵伝」の筆致や色彩を味わっていただきました。

野生司画伯の遺作とも言える「釈尊絵伝」の原画を、平等院という歴史ある場所で初めて公開できたことは当協会にとって望外の喜びであり、今後も多くの方がたに仏教絵画に親しんでいただくため、「釈尊絵伝」絵画展を続けていく予定です。



08  
Activity

B D K

# 「英訳大蔵経」事業報告

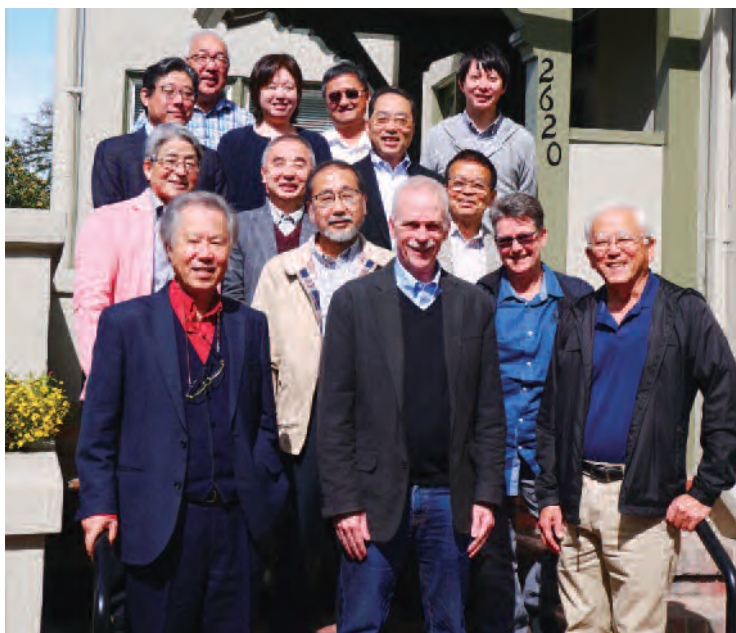
宗密による三つの小論』、大正新脩大蔵経の最初に位置づけられる『長阿含経(3)』  
(全三巻完結)の3冊を刊行しました。

英訳大蔵経編集委員会で、新メンバーとして袁輪顕量委員に加わっていたいただき、英訳事業のより一層の推進と更なる展開、世界中の仏教学者との連携を目指しています。

平成30(2018)年度は、東京大学大学院印度学

仏教学研究室と提携し、瑜伽行唯識派の論書『瑜伽師地論』の英訳事業を新たに開始しました。仏教学研究における産学連携の取り組みのあり方を模索する事例としても、重要な事業であり、今後、更にスピード感のある効率的な事業

推進を目指しています。平成30(2018)年度は、日本仏教においても重要視された戒律関係の經典『梵網経』、インドの世親による『大乘成業論』、中国の僧肇による『肇論』、同じく中国の宗密による『原人論』を収録した『世親・僧肇・



アメリカでの「英訳大蔵経編集委員会」出席者



BDK「英訳大蔵経」



米国仏教伝道協会40周年記念シンポジウム発表者(詳細P.39にもあり)



2 助成・表彰事業

「外国人留学生奨学金」制度のご紹介

仏教伝道協会では、「外国人留学生奨学金」および「日本人留学生奨学金」(通称・BDK奨学金)を設置し、仏教研究を志す皆さまを支援する奨学金事業を展開しています。

「外国人留学生奨学金」は、海外から来日し仏教研究をする外国籍の学者、研究者または学生に対して、それぞれが自国に戻り、日本で学んだ仏教精神、文化等を、学問を通じ、ひろく世界に伝えていただきたいとの願いから平成3(1991)年に設立されました。第29回目となる2019年度の奨学生は、2019年2月に開催された審査委員会により、左記3名に決定しました。

第29回 2019年度「外国人留学生奨学金」受給者

●Lu Lu (盧 鷲) 氏

所属機関：創価大学・国際仏教教学高等研究所  
指導教授：辛嶋静志教授

研究内容：後漢代非大乘漢訳仏典の校訂本および詞典作成

●Maxwell Brandstadt (マックスウェル・ブランドスタッド) 氏

所属機関：東京大学大学院人文社会科学系研究科・インド哲学  
仏教学研究室  
指導教授：下田正弘教授

研究内容：浄影寺慧遠の『大般涅槃經義記』と一闍提

●Anthony Scott (アンソニー・スコット) 氏

所属機関：東京大学東洋文化研究所  
指導教授：馬場紀寿准教授 藏本龍介准教授

研究内容：20世紀初期ビルマのヴィパッサナー瞑想の先駆者、ムラ・ミンゴン・ジェタバナ長老(1868-1954)による『ミリンダ問経』のパーリ語註釈である『ミリンダ王問経註釈』(Milindapañha-aññakatha)を研究予定

第28回

平成30(2018)年度  
外国人留学生奨学金 受給者

- 1 仏教伝道協会の奨学金制度への応募のきっかけ
- 2 受給して最も良かったと思うこと
- 3 今後の展望

◇Vladimir Angirov

(ウラジーミル・アンギーロフ) 氏

■国 籍：ロシア

■所属機関：九州大学大学院・人文科学研究院

■指導教授：片岡啓准教授

■研究内容：ジュニャーナシュリーミトラ著『主宰神論』批判校訂に向けての研究。

1 私は仏教とバラモン教の間の主宰神についての議論の研究に取り組んでいます。派やミーマーンサー学派



アンギーロフ氏(左)と片岡准教授(右)

す。この研究は仏教に関する理解だけでなく、ニヤーヤ学

2 BDK奨学生として採用されて最も良かったと思う点は、受給にあたっての

条件が非常に柔軟であることと手続きが煩雑でないことです。指導教授の片岡先生と私自身が主体的に研究の内容と方法を決めることができます。仏教伝道協会より、このような寛大なご支援をいただいたことにとても感謝しています。

3 仏教の教説の保護に貢献したいという思いが私の



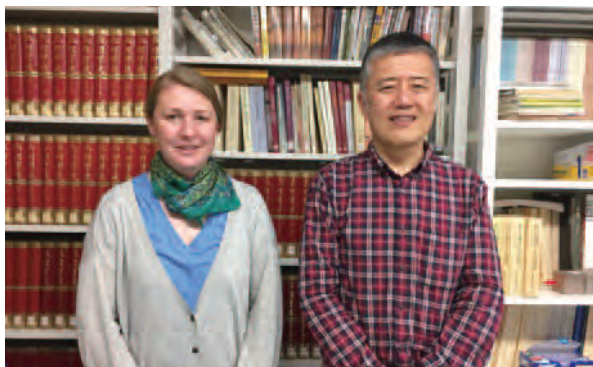
研究の動機です。今後は、大学等の教育機関で学術的な仕事ができることを希望していますが、それだけでは

なく、翻訳事業や仏教教育など、ひろく社会に貢献できる環境で仕事ができたらと考えています。

## ◇ Meghan Howard

(メガン・ハワード)氏

- 国 籍：アメリカ
- 所属機関：早稲田大学
- 指導教授：山部能宜教授
- 研究内容：『瑜伽師地論』と、法成(Chos grub)の敦煌写本中の講義録『瑜伽論手記』と『瑜伽論分門記』を研究



ハワード氏(左)と山部教授(右)

1 私の博士論文は、9世紀の敦煌において仏教の経論を漢文からチベット文に翻訳し、またチベット文か

ら漢文にも翻訳した学僧、法成(Facheng)／チェードウプ(Chos grub)を主題としています。法成はその晩年を『瑜伽師地論』の講義に

捧げ、それらは敦煌写本の中で、法成の弟子により書き取られたものとして保存されています。日本では、インドと東アジアの唯識思想の研究が非常に進んでいますが、BDK奨学金は世界の第一線で活躍する唯識研究者たちの指導を受けて勉強できる素晴らしい機会を与えて下さいました。

2 BDK奨学金を受給して最も良かったと思うことは、仏教学の国際的な中心

地の一つである日本で一年間過ごす機会を得たことです。日本では、優れた学者の方がたに出会い、資料が充実した図書館を利用することができず。そのような環境の中で、私は博士論文の執筆を大いに進捗させることができました。また、私の研究は9世紀の仏教に焦点を当てていますが、現代

社会でも生き続けている仏教を肌で感じられることにも感謝しています。

3 博士号を取得した後には、アメリカの大学で仏教史学を教えたいと思っています。特に、シルクロードの仏教の歴史について研究、関連する文献を翻訳し、それらを伝えることによつて、仏教の伝統が持つ豊かな

## ◇ Gilsan Lee (李吉山)氏

- 国 籍：大韓民国
- 所属機関：東京大学大学院人文社会系研究科・インド哲学仏教学研究室
- 指導教授：高橋晃一准教授
- 研究内容：初期瑜伽行派の染汚意の概念史の研究

1 以前からBDK奨学金の存在は知っていましたが、私の韓国での指導教授であ

る安星斗教授に、仏教伝道協会の奨学金に応募するよう特に強く勧めていただきました



李氏撮影の秋の東京大学キャンパス

さをアメリカの人びとと共有したいと思います。アメリカにおける研究職の雇用は、近年非常に競争が激しくなっていますが、この度BDK奨学金を受給できたこと、そして一年間日本で過ごすことによつて得られた経験や見識は、私の将来にとって必ずや役に立つものと確信しています。

した。また京都での思い出を懐かしそうに語る朴教授にも勧めていただき、その他多くの方がたからも応募へのアドバイスを頂戴し、大変感謝しています。

2 BDK奨学金の受給には多くの利点があります。由緒ある日本の仏教学界の深さを少しでも経験できることが最も良かった点だと感じています。

3 東京での滞在を終えた後、博士論文を仕上げる計画ですが、可能であれば、その間に台湾へも滞在したいと考えています。東京をはじめとする様々な場所での経験が、将来的な仏教学研究のためのネットワーキングの基礎になればと思っています。



# 平成30(2018)年度の主な活動

## 平成30(2018)年度 「日本人留学生奨学金」制度のご紹介

「日本人留学生奨学金」  
は、日本から海外へ渡り国  
際的な視野を養い、将来の  
仏教学術振興に貢献しうる  
日本人の若手研究者を育成  
したいという願いから、平  
成24(2012)年に設立  
されました。

第7回目となる2019  
年度の奨学生は、平成30  
(2018)年12月に開催  
された審査委員会により、  
下記3名に決定しました。

### 第7回 2019年度「日本人留学生奨学金」受給者

#### ↑1年留学支援

●藤本庸裕氏

留学先：ハンブルク大学(ドイツ)

指導教授：ミヒヤエル・ツインマーマン

(Michael Zimmermann) 教授

研究内容：説一切有部における煩惱論の起源とその発展

— 睡眠 (anusāya) を中心として —

#### ↑短期留学支援

●道元大成氏(6カ月)

留学先：オーストリア科学アカデミー(オーストリア)

指導教授：ビルギット・ケルナー (Birgit Keller) 教授

研究内容：非認識 (anupalabhi) の研究

●矢崎長潤氏(4カ月)

留学先：フリップ大学マルブルク(ドイツ)

指導教授：ユルゲン・ハンネダー (Jürgen Hanneder) 教授

ドミトリー・ティミトロフ (Dmitriy Timirov) 教授

研究内容：『チャンドラ法詳解』

(Cāndrayākaraṇapañjikā) の研究

## 第6回

## 平成30(2018)年度

## 日本人留学生奨学金 受給者

- 1 仏教伝道協会の奨学金制度への応募のきっかけ  
受給して良かったと思うこと、今後の展望
- 2 海外での生活で一番気に入っているところ(または驚いたところ)
- 3

#### ↑1年留学支援

◇山崎一穂(やまさき・かずほ)氏

●留学先：マクマスター大学宗教学科

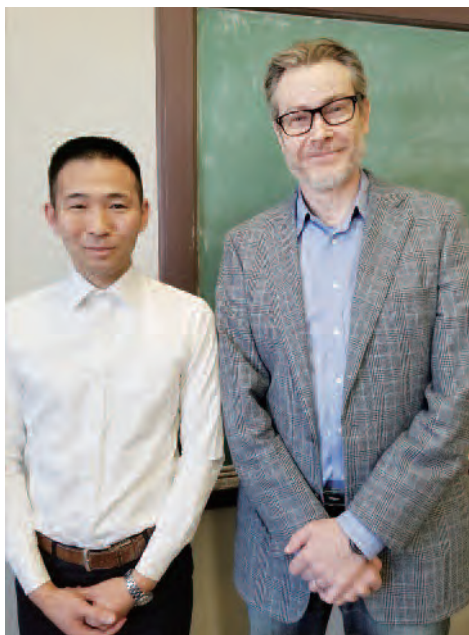
●指導教授：シェーン・クラーク

(Shayne Clarke) 教授

●研究内容：『根本説一切有部律雜事』に

見られる説話の研究

- 1 私は西暦五世紀以降にインドで著された仏教説話を対象として研究を行って  
います。これらの仏教説話  
は聖典資料、特に律文献に  
伝承されている説話を下敷  
きにして書かれています。  
したがって個々の説話が歴



山崎氏(左)とクラーク教授(右)

- 2 海外の研究機関で研究  
できる長所は、学部生や大  
学院生、研究員といった立  
場に関わらず、ワークショップ  
に参加し議論することが  
できる点です。参加者の  
興味や研究分野は様ざま  
ですが、各々が積極的な意  
見を出し合うことで、文献  
の多様な解釈が可能となり、  
また多角的な視点を養うこ  
とができます。
- 3 受入機関であるマクマ





鈴木氏（中央）と友人たち

スター大学の近くにはトロント大学があり、同大学の大学院生も我々のワークショップに参加しています。またマクマスター大学の学生も、トロント大学で開催される諸々の研究発表にも参加して、仏教研究をいっそう深めることができま

〈短期留学支援〉

◆鈴木伸幸（すずき・のぶゆき）氏

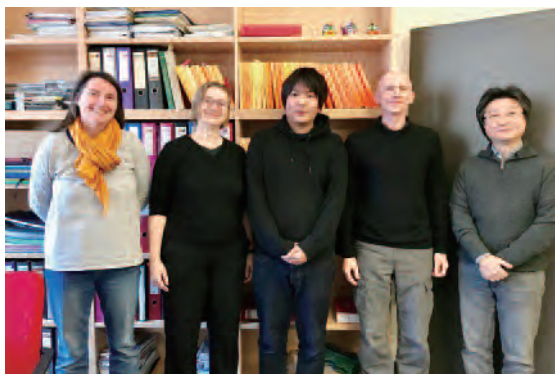
■留学先：ライデン大学地域研究研究所

■指導教授：ジョナサン・シルク (Jonathan Silk) 教授

■研究内容：インド大乘仏教の思想、シャーンティデーヴァが著した『学処集成』の研究、2018年度は特に第1章「布施波羅蜜章」に説かれる菩提心説について

1 様々な縁が重なり、偶然にもオランダのライデン大学で研究をする事になりました。ライデンで研究するための奨学金を探していたところ、仏教伝道協会様の奨学金は支援額が十分で、また現地への渡航費は別に出して下さることがとても魅力的に思いました。

2 仏教伝道協会様のご支援のおかげで現地では金銭面を気にせずに勉学に打ち込むことができました。また、私自身は栃木県の寺で副住職を務めております



ケルナー教授（左から2番目）と秦野氏（中央）

が、檀家さんの中には仏教伝道協会の活動を支援されている株式会社ミットヨに勤めておられる方がいて、皆さまの精進努力のおかげで勉強させていただけたことに心から感謝しております。今後はライデン大学で博士論文を執筆し提出する

◆秦野貴生（はたの・たかお）氏

■留学先：オーストラリア科学アカデミー

■アジア文化・思想史研究所

■指導教授：ビルギット・ケルナー (Birgit Kellner) 教授

■研究内容：チベット人注釈から見るダルマキールティのアポーハ論構造

ために、より一層努力する所存です。

3 ライデンはレンガ造りの年季が入った建造物と運河から成るとも美しい街です。オランダで最古の大学の街であるためか、街全体がアカデミックな雰囲気にも含まれています。これら

はライデンに住み努力してこられた昔の方々からの贈り物であると思います。私はライデンの街が大好きです。この歴史ある美しい街とご縁をいただき、勉強させていただいた半年間はとても幸せな時間でした。

1 自分が専門としている分野において、最も高いレベルの場所とされる研究室で一度経験を積んでみたかったこと。

2 これまで旅行でしか海外に行ったことがなかったのですが、単純に海外生活というものに興味があり、海外生活による英語・ドイツ語などの語学力の向上もはかりたい。

3 留学先がウィーンということもあり、飛行機や電車による他国へのアクセスがとても良かった。週末などの息抜きでヨーロッパの国々を巡ることができました。ヨーロッパに住む人達の英語力の高さにはとても驚き、多言語を操る人も非常に多かったのが印象的でした。



# BDK奨学金「奨学生交流会」開催

## 於 仏教伝道センタービル 平成30(2018)年6月14日

「外国人留学生奨学金」および「日本人留学生奨学金」を柱とする奨学金事業（通称：BDK奨学金）は、それぞれ設立より29年目と7年目を迎えました。

過去に受給された奨学生の皆さまも現在では、世界の教育機関をはじめとする第一線で活躍されています。

また、今後、より一層の制度の充実化を図り、円滑に研究をすすめていく上で、奨学生や指導教授同士が互いに交流できる場を提供する目的で、新たに来日した方、これから留学する方など日本に滞在中の受給者の皆さまを招き「奨学生交流会」を開催しました。



「BDK奨学生交流会」出席者



生野氏（2013年度受給者）



Kiss氏（2014年度受給者）



秦野氏（2018年度受給者）



Kamarid氏（2017年度受給者）

初開催の今回は、平成29(2018)年度「外国人留学生奨学金」受給者および指導教授の皆さまを中心として、8名の奨学生（過去受給者も含む）、2名の指導教授が出席され、各自、自己紹介と現在の研究内容や今後の展望等の発表をしていただきました。また、BDK奨学金を支える審査委員の先生がたにも同席いただき、仏教伝道協会と奨学金制度の歴史を踏まえ、今後も仏教研究を志す皆さまが継続的に活躍いただけるよう支援していくことで一致しました。

各自の発表、仏教伝道センタービル内見学の後は、精進料理の夕食を囲んでの懇親会も開催し、和やかな雰囲気の中、普段はお互い直接顔を合わせる機会のない方がたとの交流を楽しみ、今後の研究への意欲も増したようです。

※「外国人留学生奨学金」および「日本人留学生奨学金」制度について、過去の受給者実績や今後の募集についての詳細は、当協会公式サイトを[www.bdk.or.jp](http://www.bdk.or.jp)をご確認ください。



懇親会で挨拶する斎藤教授（Kamarid氏指導担当）



# 第52回「仏教伝道文化賞」 贈呈式開催

仏教伝道文化賞は、国内外を問わず、仏教研究・芸術・伝道等の様々な分野で仏教精神・文化の発展に貢献した方を顕彰するため、昭和42（1967）年に制定、平成24（2012）年からは文化活動の振興が大いに期待できる方を対象とした沼田奨励賞を新設しています。



第52回「仏教伝道文化賞」受賞関係者



贈呈式において言葉を述べる西村師

## 仏教伝道文化賞

### 西村 恵信 師

(にしむら・えしん)

長年にわたり内外で禅の思想と文化の研究・普及に尽力。



木村清孝会長より楯を授与されるみうらじゅん氏

## 仏教伝道文化賞 沼田奨励賞

### みうらじゅん 氏

仏像ブームを牽引し、若い世代へ仏教精神を発信。

第52回「仏教伝道文化賞」贈呈式ならびに祝賀披露宴を執り行い、盛会に円成しました。  
「仏教伝道文化賞」を受賞した西村恵信師（花園大学元学長、文学博士）は、「言い尽くせないほど多くの人の縁をいただいて今の私がある。まさか自分がこんな榮譽ある賞をいただくとは思っていませんが、縁のおかげである」と心から感謝」

と涙で言葉を詰まらせながら、周囲への感謝を語りました。  
「仏教伝道文化賞沼田奨励賞」を受賞したみうらじゅん氏（漫画家、イラストレーター）は、自らの少年時代を振り返って仏像とのユニークな出会いを語り、「驕ることなく今後も精進していく所存です」と謙虚に締めくくられました。



「みうらじゅん賞」トロフィー

## ▼仏教伝道協会が「みうらじゅん賞」を受賞！

第52回「仏教伝道文化賞沼田奨励賞」を受賞したみうらじゅん氏の主催で、その年を飾るのにふさわしい人やものを選考し、対象となった人やものに贈呈される賞です。

今年で第21回目を迎え、今回は当協会が受賞しました。受賞の様子は平成30（2018）年12月25日に動画配信サービス「GYAO O!」にて配信されました。

※「仏教伝道文化賞」「沼田奨励賞」の概要および過去の受賞者等の詳細は、当協会公式サイトをご確認ください。  
[www.bdk.or.jp](http://www.bdk.or.jp)



平成30(2018)年度

「助成金事業」報告

全日本仏教青年会主催

「現代の僧侶を考えるワークショップ」参画



お互いの意見を整理する参加者 (於 岐阜県・清安寺)

■開催実績

日にち	寺院名	場所	人数
2018年4月3日	常念寺	宮城県	12
2018年4月11日	妙慶院	広島県	11
2018年4月17日	願王寺	愛知県	15
2018年4月27日	浄土真宗本願寺派 奈良教区教務所	奈良県	5
2018年5月16日	神戸青年仏教徒会事務所	兵庫県	13
2018年5月30日	長谷寺	長野県	12
2018年6月16日	真宗大谷派 金沢教務所	石川県	12
2018年6月19日	林正寺	新潟県	5
2018年6月25日	浄土院	山形県	20
2018年7月2日	成佛寺	神奈川県	8
2018年7月31日	勝樂寺	山口県	11
2018年9月6日	法伝寺	静岡県	7
2018年9月7日	清安寺	岐阜県	16
2018年9月12日	曹洞宗島根県 第2宗務所	島根県	15
2018年9月13日	圓流院	鳥取県	12
2018年10月19日	光琳寺	栃木県	8
2018年10月31日	築地本願寺	東京都	28

このワークショップは、全国各地の僧侶が宗派を越えて、それぞれのおかれた社会環境や地域事情の中で寺院と仏教伝道の未来について議論し、仲間を作っていくものです。当協会職員も各地で開催されたワークショップに毎回参加し、当協会の活動を紹介、特に若手僧侶の活動を支援するための有用な情報交換の場として活用させていただきました。今回構築できた関係

性、当協会における今後の更なる活動の展開にも大きな役割を果たすものと考えています。

※「助成金事業」の詳細や申請方法につきましては、当協会公式サイトをご確認ください。  
www.bdk.or.jp



# 3 啓蒙活動・支援事業・仏教講座の開催

Enlightenment / Support / Buddhism course

## 01 Activity ラジオ企画 「笑い飯哲夫のサタデー★ナイト仏教」開始

平成30(2018)年6月1日〜 エフエム大阪 毎週土曜24:55

普段の生活で仏教に触れる機会が少ない方に深夜のラジオを通じて、仏教をわかりやすく、楽しく伝える番組がスタートしました。



サタデー★ナイト仏教にて『仏教聖典』を紹介する哲夫氏

お笑い界で屈指の仏教通として知られている、笑い飯哲夫氏によるラジオ番組「笑い飯 哲夫のサタデー★ナイト仏教」が平成30(2018)年6月よりスタートしました。お盆、お彼岸、御朱印など、毎回おまかなテーマはあるものの、基本的にはパーソナリティの哲夫さんによるフリートーク。とはいえ自他共に認める「仏教マニア」ならではの、豊富な知識と笑いをミックスさせた番組は5分という短い時間ながら10代〜20代の若い世代からの反応は上々です。さまざまな質問やコメントが番組ホームページに寄せられており、「哲夫さんの番組を聴くようになってサンスクリット語に興味を持ちました」「寝

る前にラジオをつけていたらこの番組を知りました。仏教って面白いですね」など、今まで仏教に関心がなかった層からのコメントも目立ちます。5分の番組では収まりきれない部分は、

インターネット上のPod-



サタデー★ナイト仏教収録風景

cast(ポッドキャスト)で聴くこともでき、再生回数も常にトップ20位以内と関西地域以外へも人気が広がっています。

ご好評につき2019年度も引き続き「笑い飯 哲夫のサタデー★ナイト仏教」を放送させていただきます。

※今後の放送の詳細については、当協会公式サイトをご確認ください。  
www.bdk.or.jp



笑い飯 哲夫氏 (視聴者プレゼントの色紙と共に)



02 Activity

「禅とヨガで知る 手放すこと 受け取ること」開催  
於 曹洞宗 青松寺 平成30(2018)年4月14日

高層ビルに挟まれた都心のと真ん中のお寺でヨガと坐禅を体験するイベントを開催しました。



坐禅堂にて坐禅体験をする参加者

曹洞宗江戸三カ寺の一つに数えられた古刹の青松寺は1476年に開創されて以来、東京都港区愛宕の地で多くの方がたに親しまれてきました。今回はこちらで坐禅、法話、ヨガを体験するイベントを開催。約50名の参加者は、まずは本堂に集まり、青松寺の釜田無閑師による法話を拝聴。そして坐禅堂へ移り、坐り方の指導を受けた後に坐禅を行



釜田師による法話

いました。参加者の多くが坐禅未経験者でしたが、厳かな雰囲気の中での坐禅体験は思い出深いものになったようです。坐禅の後は観音聖堂へ移動してヨガのワークショップを行いました。



釜田師(左)と綿本氏(右)

巻。観音様に見守られながら1時間半みっちりと体を動かす、最後は釜田師と綿本氏が「手放すこと 受け取ること」をテーマにクロストークを行いました。活動する分野が全く異なる両氏ですが、ヨガと仏教の共通するところ、違うところについてそれぞれの思いを飾ることなく語り、多くの共感を呼んでいました。



# 03 Activity

## 第48回「実践布教研究会」開催

於 浄土宗総本山知恩院  
平成30(2018)年6月6日～8日

平成30(2018)年度からの新たな試みとして、実践布教研究会の開催前日である6月5日に龍谷大学・響都ホール(京都市南区)にて希望者を募り、通常は研究会の2泊3日のプログラム内で開催される「分科会」を前日から行う「前日分科会」を開催しました。13名が参加し、本番前日から熱い議論が交わされました。

第48回の開催は「布教伝道―法然上人に学ぶ」をテーマに、浄土宗総本山知恩院(京都市東山区)にて開催。宗派を超えて僧侶、寺族ら43名が参加し、講話や念仏修行の後、参加者同士の討議で学びを深めました。

初日の開講式では、浄土門主・総本山知恩院第八十八世門跡である伊藤唯真殿下にご臨席を賜りお言葉頂戴した後、同称十念や日没勤行についてご指南をいただきました。一日目を終えました。二日目には田中典彦師、中村晃和師、ひろさちや氏の講義や木魚を使った念仏指導など、充実したプログラムを通じ、「専修念仏」の

教えを身をもって経験させていただきました。最終日の諸堂参拝では、境内の梵鐘の中で念仏をお称えし、

和やかな気持ちで第48回「実践布教研究会」を終えました。

※過去の開催経過および今後の予定については、当協会公式サイトをご覧ください。

[www.bdk.or.jp](http://www.bdk.or.jp)



念修行を体験する参加者



知恩院内諸堂を参拝する参加者



ひろさちや氏による講演



04 Activity

「鶴見大学×仏教伝道協会 共同企画講座」開催  
於 鶴見大学会館

「生きるのも死ぬのも面倒になったとき」

(講師：釈徹宗師・名越康文氏)

平成30(2018)年6月23日

「死との向き合い方」

(講師：南直哉師)

平成30(2018)年9月1日

「ZEN in Japanese Culture」

(講師：藤田一照師)

平成30(2018)年10月23日



南直哉師



藤田一照師



藤田師に促され笑顔でハイタッチし合う参加者

鶴見大学との共同企画として、「死生学」をテーマにした講座と外国人を対象とした英語で行う講座を開催しました。

曹洞宗大本山總持寺に隣接する鶴見大学では「死生学習セミナー」を20年に渡り定期的に開催。バラエティに富んだ講座は地域の多くの方に親しまれています。そのような鶴見大学の力をお借りし、近年注目が集まっている「死生学」をテーマにした講座と主に日本在住の外国人を対象とした英語で行う講座を開催しました。

6月の講座は、各メディア

アで活躍中の釈徹宗師(相愛大学教授・浄土真宗本願寺派如来寺住職)と名越康文氏(精神科医・評論家)を講師に迎え「生きるのも死ぬのも面倒になったとき」をテーマにお話をいただきました。司会進行は鶴見大学副学長の前田伸子先生にご担当いただき、講師の二人との軽妙なやりとりで、会場は終始和やかな雰囲気になりました。

9月の講座は、著書『超越と実存』が小林秀雄賞を受賞した南直哉師(曹洞宗霊泉寺住職・恐山菩提寺院代)をお迎えして、「死との向き合い方」についてお話を伺いました。まるで漫談師のような語り口に、客席からは時に爆笑が起こることも。参加した方それぞれが「死」について自分なりの

考えを持つきっかけになったようです。

そして外国人向けの講座「ZEN in Japanese Culture」を10月に開催。講師には海外での活動経験が豊富な藤田一照師(曹洞宗国際布教師・翻訳家)をお迎えしました。外国人向けとはいえ日本人も多く参加していましたが、司会から質疑応答まで一貫して英語での講義は、まずは参加者同士でハイタッチをし合い、会場全体が和んだ後に、禅についての講義が行われ、最後は椅子坐禅の体験という内容でした。英語を母国語とする人もそうでない人も、禅そして日本仏教を様々な視点で学び親しんでいたことが機軸となりました。



名越康文氏(左)と 釈徹宗師(右)



# 05

Activity

## 「体感する仏教」港区芝編」開催

平成30(2018)年10月13日(於 増上寺・青松寺・光明寺・真福寺)

仏教伝道協会が在る東京都港区芝には歴史ある様々な宗派の寺院が集まっています。今回は、芝地域の寺院にご協力いただき、それぞれの「宗派の教えを体感する」ということをテーマにした「体感する仏教」港区・芝編」(協賛：一般社団法人港区観光協会・公益財団法人全日本仏教会)を開催しました。



増上寺を参拝する参加者

「体感する仏教」は、朝の部・昼の部の二部構成からなり、朝の部は「お寺の雰囲気・坐禅を体感する」、昼の部は「読経・法話・阿字観(瞑想)・対話を体感する」というテーマで行いました。

朝の部では、まず大本山増上寺(浄土宗・港区芝公園)で境内・寺院参観を行

い、その後青松寺(曹洞宗・港区愛宕)の禅堂で坐禅を体験。歴史ある寺院の厳かな雰囲気を味わうことができました。

昼の部では、光明寺(浄土宗本願寺派・港区虎ノ門)で一緒に読経を行ったあと、法話を聴聞し、そして真福寺(真言宗智山派・港

※「体感する仏教」の今後の予定については、当協会公式サイトをご確認ください。  
www.bdk.or.jp

# 06

Activity

## 「仏教甘味と共に味わう

## 死の体験旅行」開催

於 仏教伝道センタービル

平成30(2018)年11月10日

「仏教甘味と共に味わう 死の体験旅行」は、浦上哲也師(浄土真宗・なごみ庵住職)による「死の体験旅行」のワークショップと木原祐健師(浄土真宗本願寺派・光明寺衆徒)製作による「仏教甘味(仏教に由来する甘味)」の提供を組み合わせた特別講座です。

「死の体験旅行」は、元々欧米のホスピス等で死に関

わる仕事を持つ方がたに死にゆく人の気持ちや少しでも理解してもらおうと作成されたプログラムで、患者が体験する喪失感や苦しみ、悲しみを疑似体験することで、患者やその家族と向き合う際に役立てるとともに、本当の自分と向き合う事が出来るワークショップとされています。それを





参加者全員でまとめをする浦上師



段々と暗くなっていく会場で目を閉じて集中する参加者

浦上師が独自にアレンジし、自分にとって「生と死」とは何か？本当に大切にしていることは何か？を、物語を追体験しながら参加者と共に考えていきます。通常少人数で行われるワークショップを今回の講座の為に特別版として運営し、約40名の皆さまにご参加いただきました。

品(善哉、すだちのまるごと寒天、蘇、豆乳かん、湯葉チップス、ドライアップル、ミックスナッツ)をお飲み物と共にビュッフェ式で存分に味わっていただき、生きていく上で欠かせない「食べる」という行為を改めて考える機会となりました。善哉は、木原師自らが一人ひとりと会話を交わしながら提供し、参加者の皆さまにはワークショップの後の



木原師製作の甘味を前に笑顔の講師(浦上師：奥、木原師：手前)

ほっとした一時となったようです。

# 07 Activity

## 「特別坐禅会」開催 於 曹洞宗大本山總持寺

平成30(2018)年11月18日

気軽に寺院へ訪れる機会を増やし、仏教精神や  
仏教文化に触れていただくため、昨年に引き続き、  
坐禅とヨガと精進料理を体験する講座を開催  
しました。

今回で3回目となった大本山總持寺での「特別坐禅会」。ヨガ講師には昨年引き続き佐藤ゴウ氏をお迎えしました。受付開始時刻前から長い列をなし、会場の三松閣大講堂には、約100名の参加者が集合しました。今回初めて小学生料金を設定し親子で参加できるようにしたところ、小学生7名のお申し込みがありました。

過去2回の「特別坐禅会」は、ヨガのワークショップからスタートしていましたが、今年は趣向を変えて、花和浩明師(總持寺參禅室長)による法話が始まりました。總持寺の歴史と曹洞宗の基本的な教え、そして精進料理についてのお話を拝



總持寺に伝わる伝統的な精進料理を体験する参加者

聴し、その後は坐り方の説明を受けて坐禅堂に移動して坐禅を組んだ後、再び大講堂に戻りヨガを行いました。最後にヨガですっきりした後に精進料理の昼食(希望者のみ)と諸堂拝観という内容には、参加した小学生もお寺での一日を楽





佐藤氏指導によるヨガ体験

しんでいたようです。今後  
もより多くの皆さまが楽し  
んで仏教に親しめるよう、  
内容を更にブラッシュアップ  
していきます。

※「特別坐禅会」の今後の  
予定については、当協会  
公式サイトをご確認ください  
やう。 [www.bdk.or.jp](http://www.bdk.or.jp)

## 08 Activity

# 各種定例講座のご案内

仏教伝道協会では事業の目的のひとつに「仏教  
精神とその文化興隆の為の啓蒙活動」を掲げてお  
り、年間を通じて各種講座を主催しています。

### ▼仏教聖典を

#### 経営に活かす会

経営者の方には人を大切に  
にする経営を、一般の社会  
の方がたには人生の道標  
の一助となるように、仏教  
が持つ東洋の叡智と慈悲の  
精神に一人でも多くの人が  
触れていただくため、引き  
続き、中野東禅師(曹洞宗竜  
宝寺前住職)・山田義俊師  
(浄土真宗本願寺派林光寺



経営に活かす会 (講師：山田義俊師)

住職)の両師を招き、月1回  
(第3水曜日18時〜)開催  
しました。

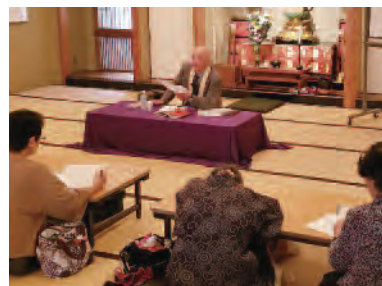
### ▼仏教聖典を

#### 生活に活かす会

宗派にとらわれず、仏教精  
神を日常生活に活かすこと  
を目的に『仏教聖典』をテキ  
ストとしたお話と、和やかな  
雰囲気の中で仏教精神に触  
れられる勉強会で、平成30  
(2018)年度は新たに、  
塩入亮乗師(聖観音宗浅草寺  
法善院住職)・小山一行師  
(武蔵野大学教授)の両師  
を招き、月1回(第4火曜日  
13時半〜)開催しました。

### ▼仏教ヨガ講座

健康的な生活習慣として  
様々な方法が実践される  
中、「ヨガ」を通じて少しで  
も多くの皆さまに仏教との



生活に活かす会 (講師：塩入亮乗師)

繋がりを感じていただきた  
いの願いから、平成27(2  
015)年より開講し、月1  
回開催しています。平成30  
(2018)年度も、引き続  
きYunis先生(ヨガインスト  
ラクター・浄土宗誓願寺副  
住職)を招き、毎月のテーマ  
に沿って、法話とヨガの実  
践を組み合わせた講座を開  
催しました。

※「仏教ヨガ講座」の詳細  
については、本誌後半に  
掲載の「ちょっとひと休  
み 現代人のためのプチ  
「ヨガ生活」のすすめ」を  
ご覧ください。



平成30(2018)年度 開催実績 (於 TKPガーデンシティ渋谷)

開催月	テーマ	講師
4月	天台宗(聖観音宗)・最澄	塩入亮乗 師 (浅草寺 法善院 住職)
5月	真言宗・空海	松島龍戒 師 (高野山真言宗 功德院 住職)
6月	浄土宗・法然	吉田龍雄 師 (浄土宗 蟠龍寺 副住職)
7月	浄土真宗・親鸞	齊藤信行 師 (浄土真宗本願寺派 善龍寺 副住職)
9月	日蓮宗・日蓮	早島英観 師 (日蓮宗 妙福寺 住職)
10月	臨済宗・栄西	細川晋輔 師 (臨済宗妙心寺派 龍雲寺 住職)
11月	曹洞宗・道元	下室覚道 師 (曹洞宗 養国寺 住職)



クロストーク (左から大谷師・塩入師・松島師)

平成30(2018)年度に3年目となった仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」は、これまでの仏教伝道センタービル(港区芝)から渋谷へ会場を移し開催しました。

講座内容は例年同様、各宗派における教義や歴史、宗祖の生涯などを取り扱う基本講義に加えて、講師の

実体験に基づく法話を交え、他では味わえない仏教入門講座を開催することができました。また、今まで仏教伝道協会として活動のなかった渋谷に会場を移したことにより、これまでご縁の少なかった地域の方がたへ、仏教に触れる一つのき

っかけを提供することもできました。

2019年は、更に池袋(TKPガーデンシティPRE-MIUM池袋)へ会場を移し、より多くの方がたへ、貴重な機会を提供しています。

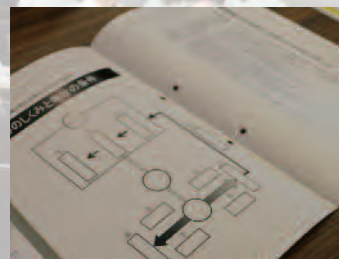
「初心者講座だけでなく、もう一步踏み込んだ仏教の勉強がしたい」という参加者のご要望にお応えし、平成31(2019)年1月29日、仏教伝道センタービル(港区芝)において、仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」特別編「奈良仏教と平安仏教」を開催しました。

講座の第一部では大谷徹英師(法相宗大本山薬師寺副執事長)によるオリジナルテキストを用いて、奈良仏教の各宗派の歴史や教学

**初級から中級へ 仏教初心者講座**  
**「一から学ぶ日本の仏教」特別編 開催**

の他、法相宗の教えの中心である唯識を分かりやすく解説していただきました。

また第二部では、参加者からの質問を元に塩入亮乗師(浅草寺法善院住職)と松島龍戒師(高野山真言宗功德院住職)を交えた3名の講師による、奈良仏教と平安仏教のそれぞれ違い、神道との関係性、今後の仏教伝道についてなどをテーマとしたクロストークを行い、約70名の皆さまにご参加いただきました。



“特別編”で参加者へ配布されたテキスト (大谷師作成)

09 Activity

仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」 in 渋谷!



仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」in 渋谷の様子



4月（塩入亮乗師）



5月（松島龍戒師）



6月（吉田龍雄師）



7月（斎藤信行師）



9月（早島英観師）



10月（細川晋輔師）



11月（下室覚道師）



ボランティア活動の様子

今年度は、過去に2級と3級に合格された方がたを対象に、平成30（2018）年11月5日～9日に千葉県成田市内ホテル並びに曹洞宗大本山總持寺（横浜市鶴見区）を会場に開催された第29回「WFBB世界仏教徒会

議」、第20回「WFBB世界仏教青年会議」、第11回「WFBB世界仏教徒大学会議」、日本大会でのガイドボランティアを募集し、27名の方が参加されました。当協会プログラムで学んだ仏教知識と語学力を活かし

今年度は、過去に2級と3級に合格された方がたを対象に、平成30（2018）年11月5日～9日に千葉県成田市内ホテル並びに曹洞宗大本山總持寺（横浜市鶴見区）を会場に開催された第29回「WFBB世界仏教徒会

議」、第20回「WFBB世界仏教青年会議」、第11回「WFBB世界仏教徒大学会議」、日本大会でのガイドボランティアを募集し、27名の方が参加されました。当協会プログラムで学んだ仏教知識と語学力を活かし

Activity 10

「仏教を初歩英語で学ぶ会」開催

卒業生・受講生が「WFBB世界仏教徒会議」ガイドボランティアとして活躍

今年度は、過去に2級と3級に合格された方がたを対象に、平成30（2018）年11月5日～9日に千葉県成田市内ホテル並びに曹洞宗大本山總持寺（横浜市鶴見区）を会場に開催された第29回「WFBB世界仏教徒会

議」、第20回「WFBB世界仏教青年会議」、第11回「WFBB世界仏教徒大学会議」、日本大会でのガイドボランティアを募集し、27名の方が参加されました。当協会プログラムで学んだ仏教知識と語学力を活かし

今年度は、過去に2級と3級に合格された方がたを対象に、平成30（2018）年11月5日～9日に千葉県成田市内ホテル並びに曹洞宗大本山總持寺（横浜市鶴見区）を会場に開催された第29回「WFBB世界仏教徒会

議」、第20回「WFBB世界仏教青年会議」、第11回「WFBB世界仏教徒大学会議」、日本大会でのガイドボランティアを募集し、27名の方が参加されました。当協会プログラムで学んだ仏教知識と語学力を活かし

今年度も当協会では、受講された皆さまが現場で活躍できる知識と英語力を修得できるよう、より充実したプログラムを目指し、運営していきます。

※各種定期講座の開催経過・今後の予定については、当協会公式サイトにてご確認ください。

[www.bdk.or.jp](http://www.bdk.or.jp)



# 平成30(2018)年度 BDKシンポジウム

Symposium

毎回各界で活躍している方を講師としてお招きし、さまざまな視点から仏教を学ぶ機会を提供しているBDKシンポジウムを、平成30(2018)年度は3回開催しました。

※今後の予定については、当協会公式サイトをご確認ください。 [www.bdk.or.jp](http://www.bdk.or.jp)



第15回 BDKシンポジウム (於 浄土真宗本願寺派広島別院)



第16回 BDKシンポジウム (於 仏教伝道センタービル8階和の間)

## 各講演概要

### 第15回

#### テーマ：「ベッドサイドに仏教がある風景

—患者・家族・医療者と共に—

開催日／平成30(2018)年8月30日 13:30~15:00

会場／浄土真宗本願寺派広島別院  
(広島県広島市中区)

講師／長倉伯博師

(浄土真宗本願寺派善福寺住職・国立滋賀医科大学非常勤講師)

第47回「仏教伝道文化賞沼田奨励賞」を受賞された長倉伯博師に終末期医療と緩和ケアについてお話をいただきました。長倉師は、「患者の方に感謝の気持ちを持って接することにより“響感”が生まれる。仏教は生きる意味を与えてくれる教えであり、医療も仏教も人生を味わうチャンスを作る。それが仏教と医療が協働できる理由である。」と話されました。

※尚、参加費は「平成30年7月西日本豪雨災害」被災地支援金として安芸教区災害対策委員会へ寄付させていただきました。







第18回 BDKシンポジウム（於 仏教伝道センタービル8階和の間）



第16回

テーマ：「日本史で読み解く 日本仏教の謎」

開催日／平成31（2019）年2月13日 18：00～20：00

会場／仏教伝道センタービル8階 和の間（東京都港区）

講師／河合敦氏（多摩大学客員教授・早稲田大学非常勤講師）

著書『「お寺」で読み解く日本史の謎』やテレビ番組『世界一受けたい授業』などで注目を集める河合敦氏に、日本史の中で仏教がどのように伝わってきたのか、歴史上の人物と仏教の関わりについてなどを中心にお話をいただきました。

第17回

テーマ：「あなたに贈る 人生の道しるべ」

開催日／平成31（2019）年3月6日 18：00～20：00

会場／タイムオフィス名古屋（愛知県名古屋市中村区）

講師／青山俊董師（愛知専門尼僧堂堂長）

※講師都合により中止となりました



第18回

テーマ：「歴史で納得 仏像の不思議—ほとけの由来—」

開催日／平成31（2019）年3月19日 18：00～20：00

会場／仏教伝道センタービル8階 和の間（東京都港区）

講師／籾内佐斗司氏（彫刻家・東京藝術大学大学院教授）

「仏像」とひと言で言ってもその姿は実にさまざま。その理由は歴史の中にもありました。平城遷都1300年記念事業の公式マスコットキャラクター「せんとくん」の生みの親である籾内佐斗司氏がその理由を解き明かしてくださいました。



Activity  
11

# 「三田落語会 大感謝祭」開催

於 浜離宮朝日ホール  
平成30(2018)年6月9日



柳家さん喬氏 (於 浜離宮朝日ホール)

「三田落語会 大感謝祭」は、昼と夜の二部講演で開催され、昼席には柳家権太楼氏、瀧川鯉昇氏、入船亭扇辰氏、桃月庵白酒氏の4名、夜席では、柳家さん喬氏、春風亭一朝氏、露の新治氏、柳家三三氏の名だたる噺家の

方がたが出演しました。次から次へと繰り出される洒落に、会場は笑いの渦に一つまれ、大盛況のうちに終了しました。

なお、平成21(2009)年から仏教伝道協会主催で仏教伝道センター(港区芝)にて開催されておりました「三田落語会」は、平成30(2018)年10月より、株式会社エムアイティギャザリングおよび株式会社文化放送の主催となり、継続開催されることとなりました(当協会協賛)。

※今後の開催日程などの詳細は、「三田落語会」公式サイトを「ご確認ください。milita-rakugo.com

Activity  
12

# 沼田智秀前会長三回忌法要・ 仏教伝道協会物故者追悼法要 厳修

於 仏教伝道センタービル  
平成31(2018)年2月14日



沼田前会長三回忌 法要の様子

平成29(2017)年2月16日に亡くなった仏教伝道協会 沼田智秀前会長(法名・恵光院釋智秀)の三周年忌法要および仏教伝道協会物故者追悼法要が仏教伝道センタービル(港区芝)にて営まれ、仏教界および物故者の親族約100名にご参加いただき遺徳を偲びました。

法要は、浄土真宗本願寺



施主 沼田恵明氏の挨拶





木村清孝会長による挨拶



モニターに写し出された沼田前会長

派 浄蓮寺 住職 沼田典生師  
を導師に厳修。指名焼香は、  
浄土真宗本願寺派 前門 大  
谷光真師、曹洞宗 大本山永  
平寺 貫首 福山諦法師、聖観  
音宗 金龍山 浅草寺 貫首 田  
中昭徳師、株式会社ミット  
ヨ 社長 沼田恵明氏らが行  
い、次いでご参列いただいた  
皆さまより心のこもった  
ご焼香を頂戴しました。  
当協会 桂紹隆理事長に



青木晴美常務理事による挨拶



御焼香の様子

よる法話に続き、挨拶は施  
主の沼田社長が務め、最後  
は参列者全員で「み仏にい  
だかれて」を歌い、締めくく  
りました。  
お斎は、当協会 木村清孝  
会長の挨拶に始まり、株式  
会社ミットヨ 会長 中川徹  
氏による献杯、最後に当協  
会 青木晴美常務理事の挨拶  
にて無事に円成しまし  
た。



当協会1階ロビーのガチャガチャ前にて、みうらんじゅん氏(左) いうせいこう氏(右)

※平成30(2018)年  
10月4日に仏教伝道文  
化賞授賞式を開催しま  
した。仏教伝道文化賞沼  
田奨励賞を受賞したみ  
うらんじゅん氏(左)とい  
うせいこう氏(右)が  
来協され、ガチャガチャ  
マシンの前で撮影させ  
ていただきました。

ガチャガチャは月替りで  
中身を替えており、同時に  
販売機に設置したホワイト  
ボードのメッセージも書き  
換えていますので、当協会  
へお越しの際は、是非ガチ  
ヤガチャとあわせてホワイ  
トボードもご覧ください。

平成30(2018)年度より、仏教伝道センター  
ビル(港区芝)の1階ロビーに仏像ファイギア  
のガチャガチャと解説リーフレットを設置しました。

# 13 Activity

## 「仏像ファイギアガチャ」設置

解説リーフレットには、

仏像の意味と所蔵されてい  
る寺院の紹介を掲載してお  
り、仏像ファイギアとあわ  
せて、仏教伝道協会で開催  
している各講座参加者の皆  
さまや講師の方がたからも  
大変ご好評をいただいでい  
ます。



ちょっとひと休み

# 現代人のためのプチ「ヨガ生活」のすすめ “簡単ヨガポーズで一日中快適に”

聞き手・撮影 ● 公益財団法人仏教伝道協会 江口郁  
場所 ● 仏教伝道センタービル



平成27(2015)年度より当協会の月例講座となった「仏教ヨガ講座」。ヨガ×仏教のコラボレーションということで、健康志向の方にも仏教に興味のある方にも高い人気を集めています。4年目の開催を終えた今、ご自身も出産を経験、産休を経て、無事復帰された講師のYuka(ガッツ有香)先生に、5年目の新たな目標を伺いつつ、一日を快適に過ごす、朝、昼、夜の3ポーズをご紹介します。

**まずは、おかえりなさい！そして無事復帰、おめでとうございます！この1年はいかがでしたか。**

ありがとうございます！しばらく産休をいただいていたので、私の中での変化が大きな1年でした。参加者の皆さまには、余計な心配をかけてしまいが、大変申し訳なかったのですが、私不在の間もSavuri先生【ヨガインストラクターの野沢小百合氏・平成30(2018)年6月〜10月迄の回を担当】には、しっかりと皆さまを指導していただき、とても感謝しています。

産前・産後も毎日ヨガをしていました。思うように身体が動かず、正直驚きました。今までヨガで辛さを感じたことがなかったので、嫌でも自分

身の身体と向き合わなくてはならない状況でした。つまり、体重の増加、妊娠特有の不安感や漠然とした焦りなどもありましたが、これらの状況に心を整え、上手く自分に向き合う道標としてヨガに取り組めたお蔭で、「出来ない」ということに落ち込まずに、逆に楽しくなりましたし、よりヨガの練習を深めることが出来ました。

**発想の転換ですね！しかしながら、約半年も指導者としての立場から離れていると、さすがのYuka先生も不安になりませんでしたか。**

そうですね。平成30(2018)年の11月に復帰させていただいた時は、随分と長く人前に出ていませんでしたので、正直、不安はありました。ですが、





**Yuuka (ガッソ有香)** ●山形県誓願寺浄土宗教師。増上寺にて修行。ヨガ指導歴13年。保持資格/全米ヨガアライアンスRYT500 八タヨガ、陰ヨガ、マタニティヨガのトレーニングを修了。ヨガ講師育成にも携わる。

- \*オンラインヨガレッスン動画配信サイト『Yogalog』ディレクター
- \*ヨガウェアReal Stoneアンバサダー

平成30(2018)年女児出産。日々心身の変化と向き合い、仏教とヨガの側面から穏やかに健康な生活を提案。初心者にもわかりやすく丁寧な指導が特徴。

ホームページ  
<https://terayoga.amebaownd.com/>

「仏教ヨガ講座」開催日程 (19:00~20:30)		1回 1,000円 【要事前申込】
2019年 4月3日 (水)	後屈のポーズで新しいスタート	
5月8日 (水)	ヴィンヤサヨガで気分をアゲよう	
6月5日 (水)	ヘッドスタンドをやってみよう	
7月3日 (水)	前屈塾 鍵になるのはハムストリング	
8月7日 (水)	ヨーガニドラで深い安らぎを	
9月4日 (水)	伝統的なヨガの呼吸法	
10月2日 (水)	秋の大運動会 腹筋キャンプ	
11月6日 (水)	バランスポーズで集中力を養う	
12月4日 (水)	メディテーションで1年の締め括り	
2020年 1月8日 (水)	ツイストポーズでデトックス	
2月5日 (水)	立位の基本とバリエーションポーズ	
3月4日 (水)	陰陽ヨガで心身のメンテナンス	

参加者の方が目を目の前にして、出産前よりもパワフルな自分がそこに居ました。出産後も温かく受け入れてくださった参加者の皆さまには本当に感謝しています。

こちらの講座は、長く続けてくださっている方が多いですし、妊娠・出産という貴重な経験をもとに、また新たなヨガの楽しさを伝えていきたいと思つた瞬間でもありました。更に奥行きのある指導が出来るのではないかと自分自身、感じています。

**2019年度も楽しみですが、では、今年度のスローガンをお願い致します。**

「いつでも!どこでも!」です。完璧な環境を待ってはいけません。ヨガは、場所も選びませんし、特別な道具も不要ですから、ありのままの状態でも直ぐにでも取り組むことができます。〇〇をしようと思っていなければ・・・と常に自分に言い訳をせずに、とにかくやってみる、これに尽きると思います。1週間続けられれば、それが、いずれは習慣になっていきます。ご

自身の体調と相談することは勿論必要ですが、やる気がなくても、とにかく、こちら(仏教ヨガ講座)に來れば、他の参加者もいらつしやいますので、やるしかない環境に自然と身を置くことが出来ます。

参加者の方からは、「仕事で疲れていて、申し込みはしてはいたが参加するかどうか迷いながら来てみたけれど、講座を終えて帰る頃には逆に元気になるっていた」なんてお話はよく聞きます。とにかく理由を持たず、考えずに来てみることで、人は煩惱を持ったまま努力

することが出来ます。呼吸を整える、目を閉じる、お念仏を称える、どれも同じ感覚で日々の生活に取り入れることが出来ますから、是非、今年は大きな目標を立てるよりも、いつでも、どこでも直ぐに始めていた

「仏教ヨガ講座」は、引き続きYuuka先生の「」指導のもと、毎月1回左記の日程で開催中です。詳細は、当協会公式サイトをご確認ください。  
[www.bdk.or.jp](http://www.bdk.or.jp)



「仏教ヨガ講座」講師 Yuuka 先生に教わる

# 一日中快適に“朝、昼、夜の簡単ヨガポーズ”

## ポーズを行う時の注意

- ◎無駄な力を抜いてリラックスして行いましょう。
- ◎呼吸はゆったりと鼻から吸って鼻から吐く。1ポーズ5回呼吸します。

Let's Try  
Some Yoga Poses!



## 朝のポーズ

### ウルドゥフハスターサナ (上向きの手ポーズ)

#### <ポーズの取り方>

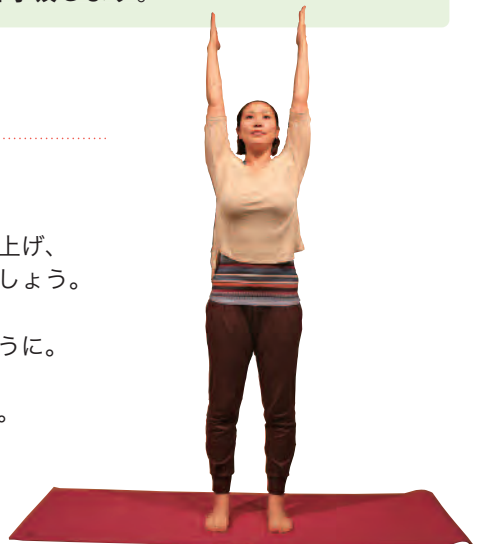
つま先を正面に向けて立ち、吸いながら両腕を上を持ち上げ、上方を見上げます。肩を下げながら指先は上に伸ばしましょう。

#### <ポイント>

足裏でしっかり床を踏み、上に気持ちよく伸び上がるように。

#### <効果>

太陽の光と新鮮な空気を胸いっぱい取り入れるイメージ。朝のみなぎる活力を感じましょう。



## 昼のポーズ

### ヴィーラバドラーサナⅡ (英雄のポーズⅡ)

#### <ポーズの取り方>

足を大きく広げ、右のつま先を90度外に、左つま先は少し内側に入れます。

右ひざを深く曲げ、両腕を真横に伸ばし、視線は右手の先を見ます。

#### <ポイント>

右ひざの向きはつま先と同じ方向。

内側に入らないように。背骨は床と垂直。

#### <効果>

勇ましい英雄になった気分です。お昼は地に足をつけ、自分の内側に潜んだ力を呼び起こしましょう。



## 夜のポーズ

### バツタコーナーサナ がっせき (合蹠のポーズ)

#### <ポーズの取り方>

両ひざを外に曲げて座ります。やさしくかかとを引き寄せ、背筋を伸ばしましょう。手は楽な場所に置きます。

#### <ポイント>

肩の力を抜いてリラックス。

余裕があれば上体を前に倒し、ゆったりと呼吸しましょう。

#### <効果>

神経の高ぶりを静め、一日の疲れを癒します。

静かで長い呼吸をすることで安眠の効果も得られます。







# 海外協力機関のご紹介

## 北米地区

米国仏教伝道協会  
ハワイ仏教伝道協会  
カナダ仏教伝道協会

## 欧州地区

ヨーロッパ仏教伝道協会  
ドイツ恵光日本文化センター  
英国仏教伝道協会  
ポーランド仏教伝道協会

## 中南米地区

メキシコ仏教伝道協会  
メキシコ恵光寺

## アジア地区

アジア仏教伝道協会  
台湾仏教伝道協会

## 南米地区

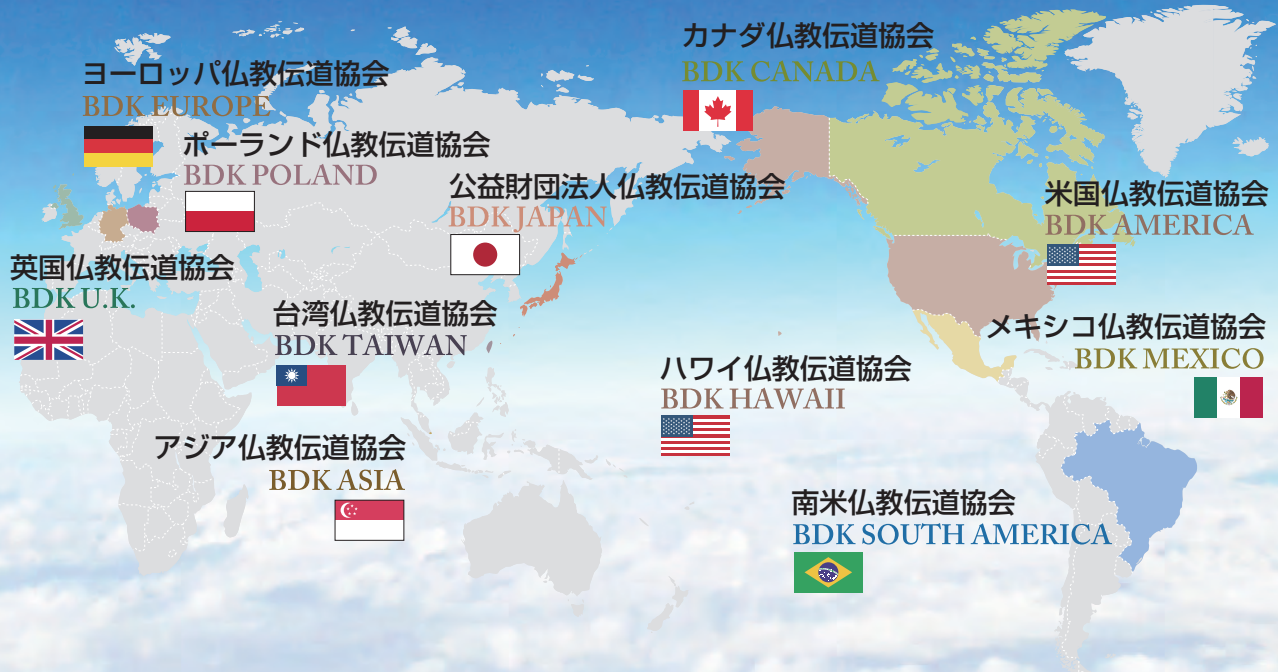
南米仏教伝道協会

日本国外には、現在9ヵ国10ヵ所にそれぞれ独立した“仏教伝道協会（通称：BDK）”があり、日本の仏教伝道協会と相互に連携しながら、特に『仏教聖典』の頒布活動を通じて仏教精神、仏教文化を伝えています。





# 海外協力機関のご紹介



## お問い合わせ一覧

●各国での『仏教聖典』頒布やその他活動の詳細に関するお問い合わせは、お近くの仏教伝道協会までお願いします。

### 北米地区

米国仏教伝道協会  
BDK America

1675 School Street,  
Moraga, CA 94556 U.S.A.  
Tel: +1(925)388-0067 Fax: +1(925)388-0331  
<http://www.bdkamerica.org> (対応言語: 日本語・英語)

ハワイ仏教伝道協会  
BDK Hawaii

1757 Algaroba Street,  
Honolulu, HI 96826, U.S.A.  
Tel: +1(808)942-1511 Fax: +1(808)942-2622  
E-mail: [bdkshi@hotmail.com](mailto:bdkshi@hotmail.com) (対応言語: 英語)  
<http://www.bdkhawaii.com>

カナダ仏教伝道協会  
BDK Canada

c/o Mitutoyo Canada Inc.  
2121 Meadowvale Blvd.  
Mississauga, ON, CANADA L5N 5N1  
Tel: +1(905)821-1261 Fax: +1(905)821-4968  
E-mail: [honjo@bdkcanada.com](mailto:honjo@bdkcanada.com) (対応言語: 日本語・英語)  
<http://www.bdkcanada.com>

### 中南米地区

メキシコ仏教伝道協会／メキシコ恵光寺  
BDK Mexico

Prolongacion Eugenia No. 17, Colonia Napoles,  
Delegacion Benito Juarez, CDMX, C.P. 03810, MEXICO  
Tel/Fax: +52(55)5669-1088  
E-mail: [bdkmexico@prodigy.net.mx](mailto:bdkmexico@prodigy.net.mx) (対応言語: 日本語・スペイン語)

### 南米地区

南米仏教伝道協会  
BDK South America

a/c Mitutoyo Sul Americana Ltda.  
Rodovia Índio Tibiriçá 1555, BAIRRO RAFFO, CEP 08620-000  
SUZANO-SP, BRASIL  
Tel: +55(11)5643-0006 Fax: +55(11)5641-3745  
E-mail: [bdk@mitutoyo.com.br](mailto:bdk@mitutoyo.com.br) (対応言語: 日本語・ポルトガル語)

### 欧州地区

ヨーロッパ仏教伝道協会／ドイツ恵光日本文化センター  
BDK Europe (EKO-Haus der Japanischen Kultur e.V.)

Brüggener Weg 6,  
40547 Düsseldorf, F.R. GERMANY  
Tel: +49(211)577918-0 Fax: +49(211)577918-219  
E-mail: [bdk@eko-haus.de](mailto:bdk@eko-haus.de) (対応言語: 日本語・ドイツ語)  
<http://www.eko-haus.de>

英国仏教伝道協会  
BDK U.K.

c/o Mitutoyo(UK)Ltd. Joule Road, West Point  
Business Park, Andover, Hants SP10 3UX U.K.  
Tel: +44 1264-353123 Fax: +44 1264-354883  
E-mail: [BDK.UK@mitutoyo.co.uk](mailto:BDK.UK@mitutoyo.co.uk) (対応言語: 日本語・英語)

ポーランド仏教伝道協会  
BDK Poland

c/o Mitutoyo Polska Sp.z o.o.  
UL. Graniczna 8A 54-610 Wroclaw, POLAND  
Tel: +48(71)354 83 50 Fax: +48(71)354 83 55  
(対応言語: ポーランド語・英語)

### 日本以外のアジア地区

アジア仏教伝道協会  
BDK Asia

c/o Mitutoyo Asia Pacific Pte. Ltd.  
24 Kallang Avenue, Mitutoyo Building,  
Singapore, 339415, SINGAPORE  
Tel: +65 6294-2211 Fax: +65 6299-6666  
E-mail: [bdk@mitutoyo.com.sg](mailto:bdk@mitutoyo.com.sg) (対応言語: 日本語・英語・中国語)

台湾仏教伝道協会  
BDK Taiwan

4F., No.71, Zhouzi St., Neihu Dist.,  
Taipei City 114, TAIWAN (R.O.C)  
Tel: +886(2)5573-5913 Fax: +886(2)8752-3267  
E-mail: [bdktaiwan@yahoo.com](mailto:bdktaiwan@yahoo.com) (対応言語: 日本語・英語・中国語)




**米国仏教伝道協会**


記念シンポジウム

平成30(2018)年5月2日は、米国仏教団の梅津廣道総長と仏教伝道協会の桂紹隆理事長による特別法要から始まり、モラガの米国仏教伝道協会の事務所において昼食会を開催しました。主にサンフランシスコ湾岸地域からの来賓をはじめ、日本の仏教伝道協会からは桂紹隆理事長、青木晴美常務理事や英訳大蔵経編集委員長のケネス・タナカ博士らが訪問しました。天候にも恵まれ来賓の方がたは裏庭のテントで振る舞われた食事や来賓同士の交流、琴演奏などの催しを楽しまれた様子でした。式典の後は、米国仏教伝道協会の定例理事会を開催しました。



晚餐会にて挨拶をする桂紹隆理事長

5月3日は、バークレーの浄土真宗センターにおいて、仏教写本の翻訳を議題に終日シンポジウムを開催しました。オックスフォード大学の「沼田仏教講座」担当教授のステファノ・ザケッティ教授、スタンフォード大学のポール・ハリソン教授、東京大学のチャールズ・ミュラー博士に続き、仏教写本の翻訳家として知られるジャン・ネットティア博士が基調講演を行いました。また、その中でケネス・タナカ委員長を中心とした英訳大蔵経編集委員4名より仏教伝道協会による英訳大蔵経事業への取り組みが発表されました。シンポジウムの後は、バークレーにあるシャタック・ホテルにおいて35名の来賓と共に夕食を楽しみました。

5月4日は、日本とアメリカ、両国の英訳大蔵経編集委員会ならびに出版委員会の委員らが集い、今後の英訳大蔵経編集事業の更なる発展を目指して互いに改善点を話し合いました。会議はバークレーの旧米国仏教伝道協会事務所にて行い、その後ワインの名産地であるナパ方面へのツアーへ出かけました。

この3日間で、現代社会における仏教への理解をより良いものにしていきたいという、仏教伝道協会が目指す基本方針を再認識することができました。



記念式典出席者

**米国仏教伝道協会**
**「設立40周年記念式典」開催報告**
**平成30(2018)年5月2日〜4日**

昭和53(1978)年に設立された米国仏教伝道協会は、平成30(2018)年で40周年を迎え、5月2日〜4日の3日間にわたって40周年記念の行事を開催しました。





# NORTH AMERICA

## 米国仏教伝道協会 BDKアメリカ

(アメリカ・カリフォルニア州)

### アメリカ・プリンスストン大学 「沼田仏教講座」開設調印式

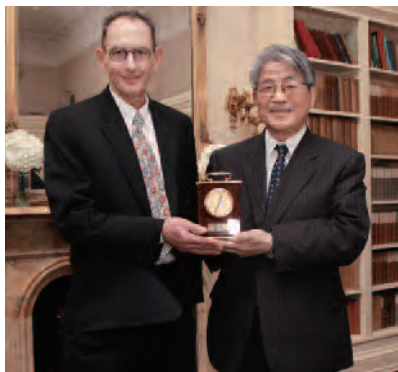
公益財団法人仏教伝道協会では、これまで世界15の主要大学において「沼田仏教講座」を開設し、平成30(2018)年には16校目となるアメリカ

ンプリンスストン大学を新たに加えました。

仏教伝道協会の桂紹隆理事長は日本およびアメリカの代表団を引き連れ、4月30日に調印式を行いました。プリンスストン大学が加わったことで、アメリカでは8校目、全世界では16校目の「沼田仏教講座」開設校となり、主要大学での仏教講座の開設支援としては最も重要な位置づけとなります。

### 「沼田仏教講座」 コーディネーター会議開催

毎年アメリカとカナダの各大学において開講している「沼田仏教講座」の担当者が、同じく毎年開催されるA.A.R (the American Academy of Religion) アメリカ宗教学会主催の定例会議に合わせ、コーディネーター会議を開催しました。平成30(2018)年は、11月16日にコロラド州デン



プリンスストン大学「沼田仏教講座」開設調印式(左:ステファン・テイザー宗教学部教授)



(左:サージューヴ・キルカルニ副学部長)



「沼田仏教講座」コーディネーター会議出席者



授賞式にてタナヘ理事長(右)と笑顔で握手を交わすツォーハー博士(左)

バーにて開催し、それぞれの活動報告および今後の方針について積極的な意見交換を行いました。

### 「沼田智秀仏教書籍優秀賞」受賞者発表 於 カリフォルニア・パークレ ー浄土真宗センター 平成30(2018)年11月9日

平成30(2018)年「沼田智秀仏教書籍優秀賞」は、ロイ・ツォーハー教授(イスラエル・テルアビブ大学)著書『A Yogacara Buddhist Theory of Metaphor (オックスフォード大学出版局)』に決定しました。この「沼田智秀仏教書籍優秀賞」は毎年カリフォルニア大学バークレー校の仏教学部により運営されています。

表彰式は11月9日にバークレーにある浄土真宗センターにて開催しました。3名の招待者による活発なパネルディスカッションが繰り広げられ、その後ツォーハー教授の基調講演へと続きました。平成22(2010)年に創設された本賞も現在では、世界中の仏教学者の出版物や研究を知ることができる最も権威のある賞として認知度が高まっています。



# ハワイ仏教伝道協会



ハワイ全土から集まった仏教宗派の代表者（於 PBA）



40周年記念晩餐会



40周年記念式典で挨拶する桂紹隆理事長



ハワイ仏教伝道協会理事会出席者



ベニー・ウエタケ氏によるウクレレ演奏

ハワイ仏教伝道協会  
「設立40周年記念式典」開催  
平成30（2018）年3月9日～11日

米国仏教伝道協会同様に昭和53（1978）年に設立されたハワイ仏教伝道協会は、40周年を迎え、3日間にわたって記念イベントを開催しました。

3月9日は、定例理事会を開催。日本の仏教伝道協会からは、桂紹隆理事長、青木晴美常務理事らが出席し、日本での活動状況を紹介しました。

3月10日は、ハワイにある23の全仏教関連施設の代表者45名がPBA（Pacific Buddhist Academy 太平洋仏教アカデミー）に集まり、ハワイにおいて仏教寺院が直面している問題点や今後の方向性について、グループに分かれて終日議論を行いました。関係者が一堂に会するのは初めての試みでしたが、大変有意義な時間となりました。

議論の後は、オアフ島の風上に位置し美しいコオラウの山々の麓に在るコオラウ・ポールルームにて、40周年記念晩餐会を開催。桂理事長も加わり、ハワイ仏教伝道協会のジョージ・タナベ理事長と共に来賓を迎えました。食後は、ウクレレ・ギター奏者として有名なベニー・ウエタケ氏の演奏に続き、PBAの学生による歌とフラダンスの披露で会場は盛り上がりました。

3月11日は、オアフ島の北に位置し、砂糖の生産で有名なワイアレアにあるタナベ理事長の自宅にて昼食会を開催。その後、仏教伝道協会の設立を発願した沼田恵範師が、当時、留学先のロサンゼルスへ行く前に立ち寄ったとされるワイアレア本願寺を参拝しました。





# NORTH AMERICA SOUTH AMERICA

## ハワイ仏教伝道協会 BDKハワイ

(アメリカ・ハワイ州)

フジタニ異教徒間交流プログラム  
開催於 ホノルル・シヤミナード大学  
平成30(2018)年4月29日

ハワイ仏教伝道協会の前理事長を務めたヨシアキ・フジタニ師によって創設された「フジタニ異教徒間交流プログラム」を開催しました。

平成30(2018)年は、「難民時代の仏教」をテーマに、移民や難民について考えました。一般公開講座は、平成30(2018)年春学期にハワイ大学にて「沼田仏教学講座」を担当いただいたジェフ・ウィルソン教授(カナダ・レニソン大学)に依頼し、シヤミナード大学内カトリック協会にて開催しました。

## 「ハワイ寺院の仏画バーナー展」開催 (於 ヒロ・ヒロ本願寺)

ハワイ仏教伝道協会と米国仏教伝道協会の共同主催で、ハワイにある仏教寺院の様ざまな視点で描かれた12点から成るバーナー(のぼり、大段幕など)を展示し、同時にバーナーに関する講演を行いました。

ハワイに現存している90の寺院が保有するハワイ独特な伝統的特徴のある寺院建築、宗祖や信仰の対象物、仏画、仏教的な家具デザインなどが見られました。展示会は7月のヒロ本願寺(浄土真宗本願寺派)での盆踊り会に合わせて開催し、その後、ヒロ大正寺(曹洞宗)でも開催しました。ヒロでの開催を終えた後は、カリフォルニアのサンディエゴ仏教寺院で開催しました。



ウィルソン教授



「ハワイ仏教寺院のバーナー展」



## カナダ仏教伝道協会

## メキシコ仏教伝道協会



古典籍を見学するワークショップ参加者

### カナダ仏教伝道協会 BDKカナダ (カナダ)

カナダ仏教伝道協会 後援  
マギル大学宗教学部 主催  
「古代・中世日本における仏教と儀式  
芸能ワークショップ」開催

平成30(2018)年9月28日にカナダ・マギル大学宗教学部主催(カナダ仏教伝道協会後援)の終日の研究会を同大学ミカエル・パウワー教授

の計画のもと開催しました。本会は、長年カナダ仏教伝道協会とマギル大学宗教学研究センターが支援をしている事業で、今回はカナダ、アメリカ、イギリスから「古代・中世の日本における仏教と儀式芸能」を研究している学者たちが参加しました。終日にわたって研究者たちは儀式

芸能が古代・中世の日本における仏教をどのように形作っていったのかを聞いた話し合いながら、中世の仏教的物質文化について掘り下げました。

昼食の際には、パウワー教授がマギル大学内のマクリナン図書館に参加者を伴って訪問し、昭和43(1968)年にマギル大学が手に入れた『百萬塔陀羅尼經』や室町時代の経典で15世紀に出版されたといわれる『維摩會初夜研学矩積』などの珍しい仏教書籍や骨董品のコレクションを紹介しました。

研究会は午後も引き続き、パウワー教授による「法相宗における慈恵会と儀式芸能」についての説明の後、最後にアルバニー大学のアーロン・プロフィット教授によるまとめめで締めくくり、終了後は招待客の方々と共にマギル大学にて夕食会を開催しました。



式典壇上 (戸高住職：右から4番目)

### メキシコ仏教伝道協会 ・メキシコ恵光寺 BDKメキシコ (メキシコ)

アルヴァ・エディソン学園卒業式にて『ブツダがせんせい』贈呈

平成30(2018)年7月30日に行われた、アルヴァ・エディソン学園(メキシコシティ)卒業式において、同学名誉教授でもあるメキシコ恵光寺の戸高浄信住職が招待され、ホルヘ・レオン学長はじめ、ハイメ・カ

スタニエダプエブラ州教育委員長、アポリナル・モラレス陸軍将校と共に、卒業生一人ひとりに、卒業証書と英語版の『ブツダがせんせい』を手渡しました。

メキシコに限らず、今や世界的に精神教育への関心が薄れる傾向にあり、現代社会では、いかに物欲を満たし、自己満足を得るか、が中心になっていることは否定できませんが、メキシコ仏教伝道協会では、学生の皆さまに心の開発をすすめる、煩惱を制御し、世のため人のために生かされることを伝えています。

アルヴァ・エディソン学園は、特に規律や道徳の教育を重視しています。そのような意味でも『ブツダがせんせい』は、まさに人生の先生であり、卒業生の未来を明るく照らし続けてくれるものと願っています。



式典にて『ブツダがせんせい』を卒業生へ手渡す戸高住職





ミットヨブースで紹介される『仏教聖典』



来場者へ次々に配布される『仏教聖典』



タッサンニーワン人事部長（左から2番目）へ直接手渡される『仏教聖典』

## アジア仏教伝道協会 BDKアジア (シンガポール)

『タイ・国際展示会での  
『仏教聖典』配布

平成30(2018)年11月21日〜24日の4日間、タイ国内で最大の来場者数を誇る国際展示会「メタレックス2018」に出展しました。アジア仏教伝道協会を運営・支援をしてくださっている株式会社ミットヨのブースにおいて、『仏教聖典』のタイ語版、英語版、日本語版を展示・配布

『タイ・シニアエアロスペース社への  
『仏教聖典』寄贈

株式会社ミットヨ製の三次元測定機を60以上保有していただいているシニアエアロスペース社様は非常に仏教への関心が深く、平成30(2018)年12月20日に、新たな年に向け『仏教聖典』タイ語版を520部、和英対照版を20部寄贈しました。

し、多くの方に直接『仏教聖典』を手にとっていただく良い機会となりました。この4日間で約400名へ『仏教聖典』を配布することが出来ました。



台湾 台湾仏教伝道協会



台湾仏教伝道協会関係者

台湾仏教伝道協会  
BDK台湾 (台湾)

台湾・国立政治大学 訪問

平成30 (2018) 年12月5日

今後の国立政治大学での「沼田仏教講座」の開設を視野にいれ、仏教伝道協会より、桂紹隆理事長と青木晴美常務理事が国立政治大学哲学学科の林鎮國教授を訪問。アジア圏では初となる助成金制度を利用した大学への支援プログラムの設立を決定しました。

台湾仏教伝道協会 総会 開催

平成30 (2018) 年12月6日

2年に1度開催している台湾仏教伝道協会の総会を開催しました。仏



総会にて活動紹介をする青木晴美常務理事

教伝道協会の青木晴美常務理事より、世界各地での活動の紹介が行われたほか、台湾仏教伝道協会の理事長で、著名な書家でもある張炳煌先生による「伝統から新技術への足跡」についての講演を開催し、ご出席の皆さまにとって、大変有意義な時間になりました。

「台湾仏教伝道協会」  
専任担当者のご紹介



新担当者 傅玉娟氏

平成30 (2018) 年9月に『仏教聖典』寄贈の専任担当として台湾仏教伝道協会に配属になりました傅玉娟と申します。元々仏教に馴染みのある国である事を生かし、台湾のあるゆる場所へ仏典の寄贈を広げ、意味のある仕事を頑張つて参ります。どうぞよろしくお願い致します！

2018年1月～12月の  
『仏教聖典』寄贈実績

	冊数
中英対照	3,959
和英対照	264
合計	4,223





# オランダ・ライデン大学

## 「沼田仏教講座」追加資金調印式

平成30（2018）年7月5日



ライデン大学「沼田仏教講座」追加資金調印式  
(右：ライデン大学「沼田仏教講座」コーディネーター・シルク教授、右から2番目：桂紹隆理事長)

仏教伝道協会から桂紹隆理事長、青木晴美常務理事らが、恵光センターから松丸壽雄所長がオランダに赴き、ライデン大学「沼田仏教講座」の担当教授であるジョナサン・シルク博士の出迎えを受け、ライデン大学を訪問しました。

同大学司書のN.クレフト氏の  
ご案内により、一行は図書館の所蔵  
品の中でも特に日本に関する展示品  
を鑑賞しました。その後、ライデン大  
学創立記念の一室で、人文学部長M.  
ルトガース教授、シルク教授、その他  
多くの関係者のご臨席のもと、桂理  
事長とC.シュトルカーライデン大  
学学長によつて、署名調印が行われ  
ました。  
ライデン大学における「沼田仏教  
講座」は、平成3（1991）年3月に  
開設されました。その後、仏教講座を  
維持するための基金となるように、



ライデン大学「沼田仏教講座」追加資金調印式昼食会  
(左：桂紹隆理事長、右：シュトルカー学長)



# ヨーロッパ仏教伝道協会



「沼田仏教講座」コーディネーター会議出席者

ヨーロッパにて「沼田仏教講座」を開設している各大学の担当教授をお招きし、各大学での活動内容の報告の場として「沼田仏教講座」コーディネーター会議を開催しました。ハンブルグ大学からはステファン・ドゥル教授、ライデン大学からはジョナサン・シルク教授、ウイーン大学からはK. D. マテス教授、オックスフォード大学からはステファノ・ザケッティ教授、そしてロンドン大学からはルチャ・ドルチェ教授が出席

欧州地区「沼田仏教講座」コーディネーター会議（於 ドイツ恵光日本文化センター）  
平成30（2018）年7月7日

## ヨーロッパ仏教伝道協会・「恵光」日本文化センター BDKヨーロッパ（ドイツ）

仏教伝道協会は追加資金提供をし、それが一定額に達しました。この基金に今後の同講座開設の継続、維持のための追加原資を提供することで合意しました。  
「沼田仏教講座」が、オランダでも由緒あるライデン大学人文学部に開設され続けることの意義を、お互いに再確認の上調印した後、夏の爽やかな雰囲気の中でライデン大学主催の昼食会が開催されました。

東日本大震災追悼法要



し、お互いに積極的な意見交換の場として活用いただきました。  
東日本大震災追悼法要・復興支援チャリティコンサート開催（於 ドイツ・恵光日本文化センター）  
平成30（2018）年3月11日  
発生から7年経った3月11日に、東日本大震災の追悼法要・復興支援チャリティコンサートを開催しました。法要には国籍を問わず、約50名の参拝がありました。法要に続いて開催したチャリティコンサートではKANWAIEアノ様ご協力のもと、デユッセルドルフ音楽教室の講師、選





平田道正氏による講演「～被爆証言～僕が「ヒバクシャ」になった日」



松丸壽雄所長による法話

抜かれた生徒さん、ゲスト演奏者によるピアノ演奏をいただき、約120名の来場がありました。また、語り部兼司会として、フックス・真理子氏にご登壇いただき、いまだ避難生活が続く被災地の現状についてお話いただきました。なお、この日に集まった募金800,62ユーロは、被災によって家族と暮らせなくなった子どもたちを支援するNPO法人「子どもの村東北」に全額寄付しました。

孟蘭盆会・広島原爆被爆体験者による講演（於 ドイツ・恵光日本文化センター）  
平成30（2018）年8月11日  
孟蘭盆会が行われ、約70名のお参りがありました。『仏説阿彌陀經』のお勤めに続き、ドイツ語法話、日本語法話、『御文章』の拝読を行いました。孟蘭盆会の後、10歳の時に広島で被爆した平田道正氏による「被爆証





ヨーロッパ仏教伝道協会



英国仏教伝道協会



来賓へ挨拶する松丸壽雄所長

言「僕が「ヒバクシャ」になった日」と題した講演をドイツ語通訳付で開催しました。老若男女、様々な国籍の約100名が来場し、戦争がもたらした悲しみとそれを次の世代に伝え、この悲劇が二度と繰り返されはならないという平田氏の熱い思いをご来場いただいた皆さまと確認しました。

欧州ミットヨ「創立50周年記念式典」開催（於 ドイツ・デュッセルドルフ）  
 平成30（2018）年9月17日～18日  
 長年、ドイツ恵光日本文化センターおよび恵光寺の活動・運営を全面的にご支援いただいている欧州ミットヨ（Mitutoyo Europe GmbH）の創



晚餐会の様子

立50周年を記念する式典が2日間にわたって開催されました。  
 日中は、デュッセルドルフ市内の展示会場にて記念講演を含む式典が行われました。会場内では、株式会社ミットヨ製の最新機器のデモンストラーションも行われ、また、磯正人氏（在デュッセルドルフ日本国総領事）からもご挨拶をいただきました。  
 その後、恵光日本文化センターに移動し、松丸所長とノッテルマン研究員による挨拶、そして和太鼓グループWADOKYOによる演奏が行われました。夜は、デュッセルドルフ市内にあるホテル・ニッコーで祝賀会が催され、恵光センターからは松丸



英国仏教伝道協会 新代表者就任（ペニー氏：右）

所長、エハード恵光幼稚園主任、攝受師が出席しました。  
**英国仏教伝道協会**  
**BDK UK**（イギリス）  
**英国仏教伝道協会**  
**代表者交代のお知らせ**  
 長年、英国仏教伝道協会の代表者を務めたデイビッド・トムソン氏が、平成30（2018）年12月末をもって退任しました。後任のレイモンド・ペニー氏が、2019年1月から代表者となり、今後は理事の須磨氏と共に英国仏教伝道協会の活動を行っていきます。



## 仕事（しごと）

仕事とは、一般に働くこと、職業・職務の意味で使いますが、本来、仕とはつかえるという意味ですから、自らの全身全霊をもって仕えることが仕事なのです。

ですから、自らの「いのち」のすべてをかけて仕えるものをもつことが仕事に就くということです。

ただ、食べるために、しばらくこのことをやるといいますが、本当にその人の仕事かという点、どうもそうではないようです。

何もしない訳にはいかないから、しばらくお金のために、したくないことだけとするとという人がいるならば、それは自分の仕事を見つけれない人です。

自らが、「いのち」のすべてをかけて仕えるものをもつ、本当の仕事をもつことが、

私たちがこの世を生きる上で一番大切なことではないでしょうか。

自分の仕事を見つけ、仕事にいきる、そこに生きるよろこびがあるのです。

（仏教伝道協会 第二代会長 沼田智秀 著『ささえあって―百八つのおもい―』より）